

平成30年度 日本水産学会秋季大会 講演プログラム Program

The Japanese Society of Fisheries Science
Autumn Meeting 2018



平成30年9月15日(土)～9月18日(火)

広島大学(東広島キャンパス)

September 15-18, 2018

Hiroshima University

平成30年度 日本水産学会秋季大会

日時：平成30年9月15日(土)～9月18日(火)

場所：広島大学東広島キャンパス

大会日程ならびに会場

月日	時間	行事	会場名
9月15日 (土)	10:00-15:00	理事会	C308
	11:00-	受付開始	2Fロビー
	12:00-13:00	水産環境保全委員会	C309
	12:00-13:00	漁業懇話会委員会	第3会議室
	12:00-13:00	水産増殖懇話会委員会	第4会場
	15:00-18:00	学会賞選考委員会	C308
	13:00-17:00	ミニシンポジウム「選抜育種の積極的な導入に向けて―「経験則」から「データによる予測」へ」	第1会場
	13:00-17:00	水産環境保全委員会企画研究会 「増養殖環境における生物－環境間の相互作用とその有効利用 ～複合養殖の現場から探る実態とこれからの可能性～」	第2会場
	13:00-17:00	第2回日本水産学会水産増殖懇話会講演会「瀬戸内の魚類養殖のホットスポット」	第3会場
9月16日 (日)	13:00-17:00	若手の会主催シンポジウム「若手研究者による中国・四国地方の水産研究とこれから」	第5会場
	13:00-16:40	ミニシンポジウム「干潟漁場の評価のための生物多様性の研究」	第6会場
	9:30-17:30	口頭発表	第1-6会場
	11:00-16:00	ポスター発表I(コアタイム:11:15-12:00[奇数]、12:30-13:15[偶数])	大学会館大集会室
	11:00-16:00	高校生ポスター発表	2Fロビー
	12:00-13:00	企画広報委員会	C308
	12:00-13:00	シンポジウム企画委員会	C309
	12:00-13:00	国際交流委員会	C310
	12:00-13:00	水産政策委員会	第3会議室
9月17日 (月)	18:00-20:00	会員交歓会	生協西2食堂
	9:30-17:30	口頭発表	第1-6会場
	11:00-16:00	ポスター発表II(コアタイム:11:15-12:00[奇数]、12:30-13:15[偶数])	大学会館大集会室
	12:00-13:00	編集委員会	C308
9月18日 (火)	12:00-13:00	男女共同参画推進委員会	第3会議室
	8:30-16:35	シンポジウム「魚類の性決定・性分化・性転換 -これまでとこれから-	第3会場
	13:00-17:00	ミニシンポジウム「持続可能な漁業産業を支援するためのICT の活用」	第2会場

研究発表日程表

会場	9月16日(日)		9月17日(月)	
	午前	午後	午前	午後
	9:30 - 10:54	13:30 - 17:30	9:30 - 10:54	13:30 - 17:30
1	漁場 資源 101-107	漁具 資源 108-118		
2	生態 201-207	分類 生理 行動生理 生態 ベントス 208-227	生理 228-234	生態 海藻 235-254
3	生態 プランクトン 種苗生産 301-307	餌料生物 種苗生産 養成 栄養・飼料 増養殖環境 308-327	種苗生産 増養殖環境 328-334	魚病 増養殖環境 遺伝・育種 種苗生産 335-355
4	生体防御 遺伝・育種 401-407	タンパク質・酵素・核酸 408-420	脂質・糖質 エキス成分 色素・ビタミン 421-427	
5	環境微生物 501-505	環境微生物 有害・有毒プランクトン 506-522	水域汚染 富栄養化 523-525	水域汚染 生体汚染 526-536
6	食品加工 601-607	鮮度保持 食品衛生 食品微生物 生理活性物質 608-622	水産経済 水産政策 623-626	
7	ポスター I 901-957		ポスター II 1001-1052	

大会参加者の皆様へのお知らせ

受付

生物生産学部 講義・管理棟C 2階ロビーに受付を設置します。案内図に従い、お越し下さい。
全てのシンポジウムは一般公開されます。シンポジウムに限り無料でご参加いただけます。

口頭発表資料の提出および発表要領

口頭発表の資料提示は、パワーポイントファイルを PC用液晶プロジェクターにより投影して行います。ソフトのバージョンはパワーポイント 2013 で、PCのOSは Windows 7 です。パワーポイントファイルを入れたUSBメモリ(必ずウィルスチェックをしてからお持ちください)を各自会場にご持参ください。ファイルの会場 PCへのコピーは午前・午後のセッション開始前(下記)に行ってください。

- ・午前セッションでの発表の方は、午前のセッション開始前 8:30-9:20 の間
- ・午後セッションでの発表の方は、午前のセッション終了直後から午後のセッション開始前の 11:10-13:20 の間

1題の講演時間は10分で、討論を含めて12分で終了とします。9分経過時に予鈴(1回)が、10分で本鈴(2回)が鳴ります。以降、1分ごとに警告鈴(3回)が鳴ります。演者の皆様には発表時間の厳守をお願いします。スライドの操作は演者ご自身でお願いします。

ポスター発表資料の提示および発表要領

ポスターの掲示は9月16日および17日の2日間、2回に分けて行います。ポスターの掲示作業は各発表日の 9:30-11:00 に発表者自身で完了してください。講演番号を指定したボード、テープ等を用意します。ポスターの掲示は9月16日、17日ともに 11:00-16:00 です。このうち討論時間は、講演番号が奇数の方は 11:15-12:00、講演番号が偶数の方は 12:30-13:15 です。この時間帯に発表者はご自身のポスターの前に待機して下さい。ポスターの撤去は各発表日の 17:00 までに完了して下さい。お忘れになった場合、大会期間中は大会本部で保管しますが、その後は廃棄となります。

発表講演者、座長の皆様へ

発表会場入口に発表講演者と座長の一覧表を掲示します。入場前に確認のチェックを入れてください。

展示

展示会場は1階 第1会議室です。

休憩室

休憩室は、1階 第1会議室(展示会場を兼ねる)、2階 C205 講義室、3階 ミーティングルームの3室を用意しております。

昼食

大会期間中、9月16日(日)と17日(月)には、以下の食堂のみ臨時営業します。この2日間の昼食(弁当)ご利用につきましては事前予約制となっております。なお、会場周辺には食事をとれるところが極めて少ないのでご注意ください。

営業日:9月16日(日)、17日(月)

会場:生協西2食堂

料金:500 円

* 15日(土)と18日(火)は、キャンパス内のほかの生協も含め通常営業しています。

会員交歓会

会員交歓会を下記の通り行います。ご参集下さい。

日時: 9月16日(日) 18:00～20:00

会場: 生協西2食堂

喫煙

学内は禁煙です。喫煙は構内図に示された喫煙場所のみでお願いいたします。

大会会場へのアクセス

平成30年7月豪雨の影響により、大会会場（広島大学 東広島キャンパス）へのアクセス状況は従来と異なる場合があります。最新の情報をご確認の上、お越しください。

JR 西日本 HP

<http://trafficinfo.westjr.co.jp/chugoku.html>

芸陽バス HP

<http://www.geiyo.co.jp/bus/index.htm>

中国 JR バス HP

http://www.chugoku-jrbus.co.jp/route_bus/hiroshima/

広島大学 HP

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima>

JR山陽本線を利用する場合

JR西条駅	広島大学行バス	所要時間 約20分	構内最寄のバス停で下車
JR八本松駅	広島大学行バス	所要時間 約20分	構内最寄のバス停で下車

山陽新幹線を利用する場合 ※バスの便数少

JR東広島駅	広島大学行バス	所要時間 約15分	構内最寄のバス停で下車
--------	---------	--------------	-------------

広島空港を利用する場合

広島空港	JR白市駅行 バス	所要時間 約15分	JR白市駅	所要時間 約10分	JR西条駅	広島大学 行バス	所要時間 約20分	構内最寄の バス停で下車
------	--------------	--------------	-------	--------------	-------	-------------	--------------	-----------------

山陽自動車道を利用する場合

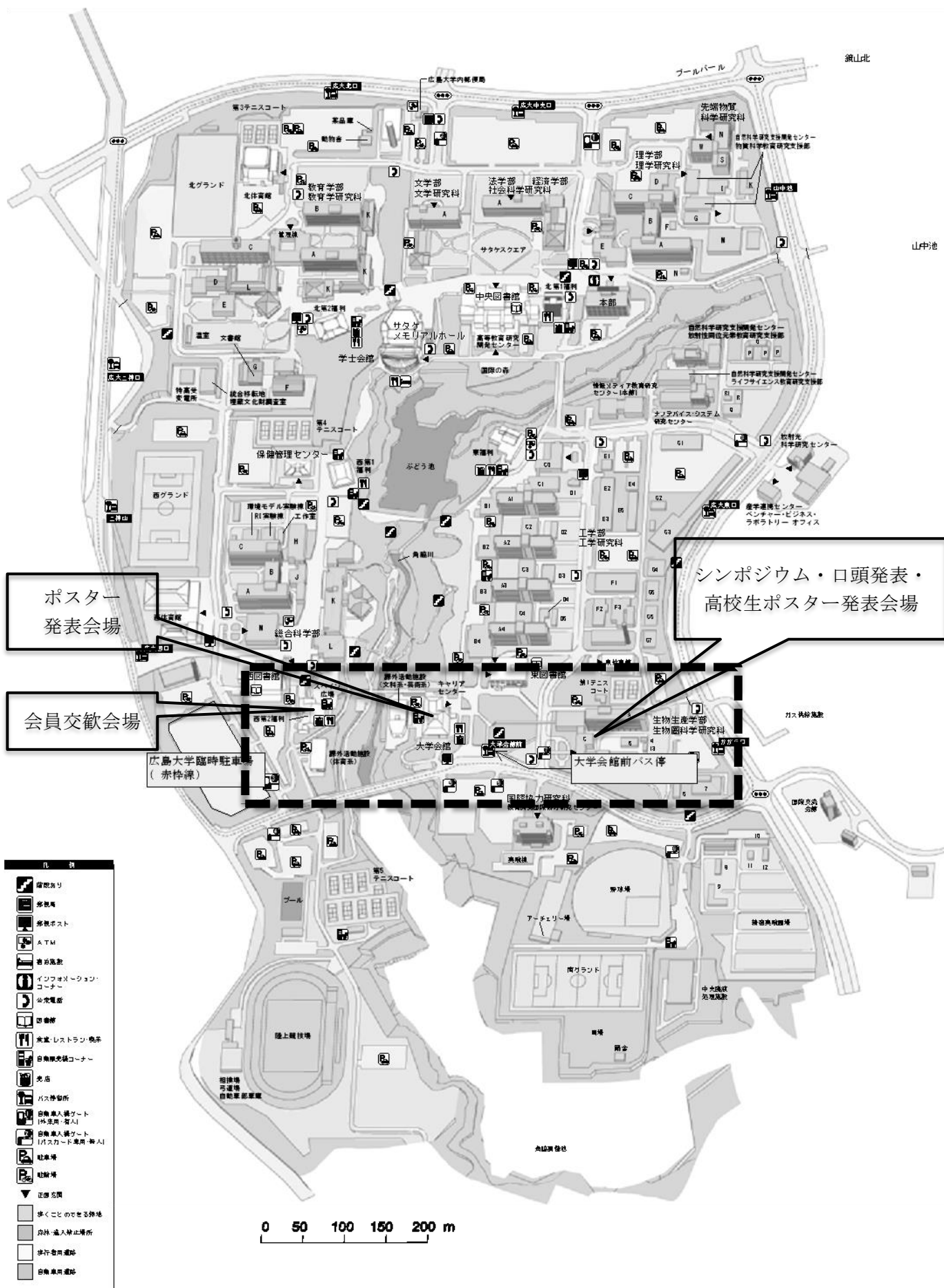
大阪 方面 ▶	西条I.C.	所要時間 約20分～30分	広島大学	九州 方面 ▶	志和I.C.	所要時間 約20分～25分	広島大学
------------	--------	------------------	------	------------	--------	------------------	------

高速バスを利用する場合

広島バスセンター	高速バス*広島大学行	所要時間 約60分	構内最寄のバス停で下車
----------	------------	--------------	-------------

※高速バス「グリーンフェニックス」

広島大学 東広島キャンパスマップ

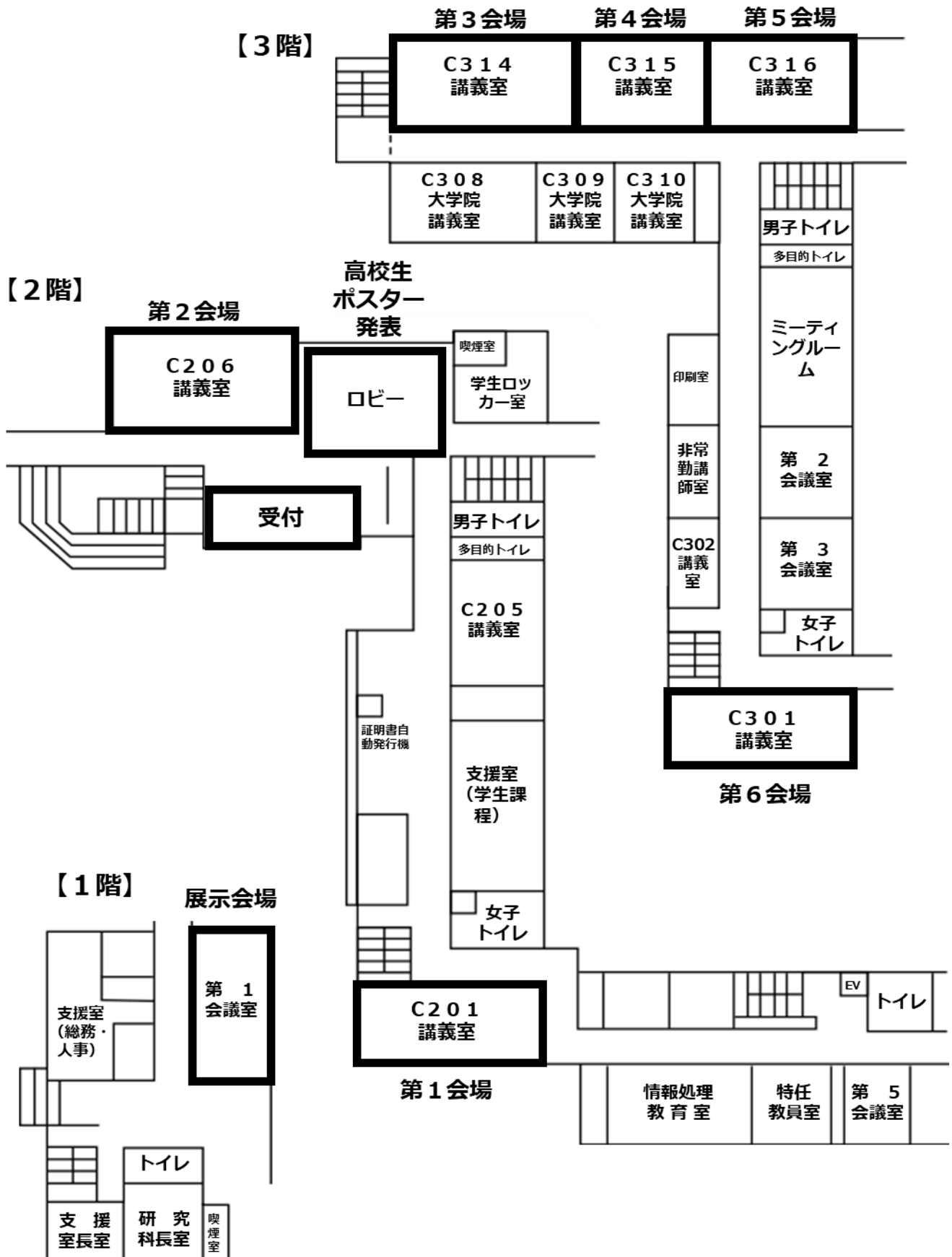


大会会場付近案内図



講義・管理棟 C 平面図

(シンポジウム・口頭発表・高校生ポスター発表会場)



プログラム

一般講演

ポスター

シンポジウム等

研究発表一覧表

会場	1	2		3		4		5		6		会場	7	
細目	漁場 資源	生態	生理	生態 種苗生産 プランクトン	種苗生産 増養殖環境	生体防御 遺伝・育種	脂質・糖質 色素・ビタミン エキス成分	環境微生物	水域汚染 富栄養化	食品加工	水産経済 水産政策	細目	ポスター	
日	16	16	17	16	17	16	17	16	17	16	17	日	16	17
9:30	101	201	228	301	328	401	421			601		9:30		
9:42	102	202	229	302	329	402	422			602		9:42		
9:54	103	203	230	303	330	403	423	501		603		9:54		
10:06	104	204	231	304	331	404	424	502		604	623	10:06		
10:18	105	205	232	305	332	405	425	503	523	605	624	10:18		
10:30	106	206	233	306	333	406	426	504	524	606	625	10:30		
10:42	107	207	234	307	334	407	427	505	525	607	626	10:42		
細目	漁具 資源	分類 生態 生理 ペントス 行動生理	生態 海藻	餌料生物 養成 増養殖環境 栄養・飼料	遺伝・育種 魚病 増養殖環境 種苗生産	タンパク質・ 酵素・核酸		有害・ 環境微生物 毒プランクトン	水域汚染 生体汚染	鮮度保持 食品衛生 食品微生物 生理活性物質		細目	ポスターⅠ 901-957	ポスターⅡ 1001-1052
13:30	108	208	235	308	335	408		506	526	608		13:30	11:00-16:00	11:00-16:00
13:42	109	209	236	309	336	409		507	527	609		13:42		
13:54	110	210	237	310	337	410		508	528	610		13:54		
14:06	111	211	238	311	338	411		509	529	611		14:06	奇数コア 11:15-12:00	奇数コア 11:15-12:00
14:18	112	212	239	312	340	412		510	530	612		14:18	偶数コア 12:30-13:15	偶数コア 12:30-13:15
14:30	113	213	240	313	341	413		511	531	613		14:30		
14:42	114	214	241	314	342	414		512	532	614		14:42		
14:54	115	215	242	315	343	415		513	533	615		14:54		
15:06	116	216	243	316	344	416		514	534	616		15:06		
15:18	117	217	244	317	345	417		515	535	617		15:18		
15:30	118	218	245	318	346	418		516	536	618		15:30		
15:42		219	246	319	347	419		517		619		15:42		
15:54		220	247	320	348	420		518		620		15:54		
16:06		221	248	321	349			519		621		16:06		
16:18		222	249	322	350			520		622		16:18		
16:30		223	250	323	351			521				16:30		
16:42		224	251	324	352			522				16:42		
16:54		225	252	325	353							16:54		
17:06		226	253	326	354							17:06		
17:18		227	254	327	355							17:18		
日	16	16	17	16	17	16	17	16	17	16	17	日	16	17
会場	1	2		3		4		5		6		会場	7	

平成 30 年度日本水産学会秋季大会プログラム

期間 平成 30 年 9 月 15 日 (土) ~ 9 月 18 日 (火)

場所 広島大学東広島キャンパス

第 1 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9 : 30 101 丹後海におけるヒラメ仔稚魚の出生地の推定
ー耳石安定同位体比($\delta^{18}\text{O}$, $\delta^{13}\text{C}$)の応用ー
..... °岡田恵治・木村伸吾(東大大気海洋研)・
澤田英樹・鈴木啓太・山下 洋(京大フィールド研セ)
- 9 : 42 102 人工魚礁の魚礁効果に現れる高さの影響に関する研究
..... °大竹臣哉・平田綾乃(福井県大海洋生資)
- 9 : 54 103 山口県日本海側における標本に基づいた魚類リスト作成の取り組み
..... °永井節子・田上英明・有本光希・生平遥菜・梅津寛己・藤來和香・
去川直稔・高橋 洋・毛利雅彦(水産機構水大校)
- 10 : 06 104 Nutrient cycles created by setting artificial timber reefs
..... °Jamaluddin Fitrah Alam・Tamiji Yamoto(GSBS HU)・
Shinya Nakahara・Kiyonori Hiraoka(HEHA)・Hideyuki Ohtoshi(HHC)
- 10 : 18 105 混獲時系列情報を用いた北西太平洋ミンククジラのオペレーティングモデル取捨選択
..... °北門利英(海洋大)・後藤睦夫(日鯨研)
- 10 : 30 106 標識再捕獲法を用いた小笠原諸島におけるアオウミガメの生存率および回帰間隔の推定
..... °遠藤大輔(海洋大)・近藤理美・佐藤隆行・北山知代(ELNA)・北門利英(海洋大)
- 10 : 42 107 千葉県印旛沼におけるオオクチバスの成長と成熟
..... °小川健太(香川赤潮研)

午 後

- 13 : 30 108 小型いか釣り漁業の長期変動に及ぼす影響
..... °後藤友明(岩手大三陸水研セ)・高梨愛梨(岩手水技セ)
- 13 : 42 109 西日本におけるウルメイワシとマイワシの漁獲量変動要因
..... °藤崎 光・鈴木直樹(海洋大)
- 13 : 54 110 ディープラーニングを利用した鹿児島県におけるシラス漁況予測の試み
..... °庄野 宏(鹿大共通教育セ)・天野裕平・櫻井正輝(鹿児島水技セ)
- 14 : 06 111 つぶ籠漁業の操業日誌データに基づく拡張Delury法によるエゾバイの資源量推定
..... °山口浩志・佐藤政俊(道中央水試)・荒木 格(檜山水指)・澤田 尚(道漁業研究所)・
吉村圭三(道栽水試)・萱場隆昭(道総研)
- 14 : 18 112 日本海西部における主要底魚類の食物網構造
..... °井上 博(京大院農)・上田祐司・藤原邦浩(水産機構日水研)・
山下 洋(京大フィールド研セ)
- 14 : 30 113 Stage-basedモデルを用いた仙台湾におけるイカナゴ資源動態解析
..... °河野恵実(海洋大)・佐伯光広(宮城県水技セ)・田村 力(日鯨研)・北門利英(海洋大)
- 14 : 42 114 Bayesian state-space surplus production modelを用いた北西太平洋サンマ資源解析の妥当性検証
..... °千葉葉津子(海洋大)・巢山 哲(水産機構東北水研)・北門利英(海洋大)

- 14:54 115 TAC制度の漁獲枠配分ルールが資源・漁業に与える影響の検証
..... °半沢祐大(水産機構中央水研)
- 15:06 116 中層・底層定置網を対象とした柔構造型海亀脱出装置による海亀脱出実験
..... °塩澤舞香・塩出大輔・胡 夫祥・東海 正(海洋大)・平井良夫(日東製網)
- 15:18 117 魚類の遊泳時波状運動による体側面圧力分布と推進効率
..... °土井慧祐・青木勇樹(近大院農)・鳥澤真介・光永 靖(近大農)・高木 力(北大院水)
- 15:30 118 定置網漁の日単位漁獲量予測モデリングにおける学習データ量と予測性能の関係の調査
..... °堀内優佳・幸加木裕也・小林哲則・小川哲司(早稲田大学)

第 2 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9:30 201 瀬戸内海中央部におけるクロダイ仔稚魚の出現：アマモ場に出現する体サイズについて
..... °野手健太郎・吉川俊太郎・小路 淳(広大院生物圏科)
- 9:42 202 An estimation of biomass of animals and fish associating oyster rafts in Hiroshima Bay
..... °Wahyudin P. Sasmita・Tamiji Yamamoto(Grad. Sch. Biosph. Sci., Hiroshima Univ.)
- 9:54 203 環境DNAが示すクロダイの河川進入の季節変化
..... °笹野祥愛・村上弘章・山下 洋・益田玲爾(京大フィールド研セ)
- 10:06 204 アイゴ稚魚による嗜好性の低い海藻の利用と被食リスクの関係～日和見採餌の検証～
..... °野田幹雄・岡本訓明(水産機構水大校)
- 10:18 205 ウニ除去による藻場回復状況に及ぼす冬季水温の影響について
..... °干川 裕・高谷義幸・福田裕毅(道中央水試)・秋野秀樹(稚内水試)・鈴木芳房(海洋探査)
- 10:30 206 瀬戸内海山口湾の干潟におけるトラフグ稚魚の食性ならびに炭素・窒素安定同位体比 –トラフグ稚魚によるマテガイ食害
..... °重田利拓・辻野 陸(水産機構瀬水研)・富山 毅・斉藤英俊・坂井陽一(広大院生物圏科)
- 10:42 207 瀬戸内海広島湾のアサリ漁場干潟におけるクロダイ成魚の食性解析 –クロダイ成魚によるアサリ親貝の食害
..... °重田利拓(水産機構瀬水研)・薄 浩則(水産機構西水研)・
斉藤英俊・富山 毅・坂井陽一(広大院生物圏科)

午 後

- 13:30 208 アオリイカ3種のロドプシン吸収波長
..... 大隅 彪・°宮崎多恵子(三重大院生資)
- 13:42 209 スルメイカ内臓由来成長促進因子の単離同定
..... °三浦 猛・太田 史・青木良太・井戸篤史(愛媛大院農)・三浦智恵美(広工大環境)
- 13:54 210 性転換魚ホシササノハベラにおける生殖幹細胞の探索
..... °三留夏野子・藤田 順(九大院農)・
Chakraborty Tapas・Sipra Mohapatra(愛媛大南水研)・松山倫也(九大院農)・
長濱嘉孝(基生研)・太田耕平(九大院農)
- 14:06 211 メダカにおける4種のメラトニン受容体の免疫組織化学的局在解析
..... °酒井琴和・山本裕也・池内俊貴(長浜バイオ大院)
- 14:18 212 配向コラーゲン線維コートウエルの作製と前骨芽細胞への効果
..... °諸井翔一・三浦隆之・張 曦・浦 和寛・都木靖彰(北大院水)
- 14:30 213 エキソソームのメチル水銀に対する防護効果
..... °今村伸太郎・加藤智美・國吉道子(水産機構中央水研)・山下倫明(水産機構水大校)
- 14:42 214 アワビGnRHの性成熟に及ぼす効果
..... °船山翔平・足立賢太・栗名宏輔・奥村誠一(北里大海洋)・古川季宏(北日本水産)・
川島祐介・斎藤達也・小寺義男(北里大理)・森山俊介(北里大海洋)

- 14:54 215 ブリ仔魚におけるアミノペプチダーゼ遺伝子の発現パターン
 °宇治 督(水産機構増養殖研)・Vo Hung Vuong(三重大院生資)・
 今村伸太郎・安池元重・藤原篤志(水産機構中央水研)・
 藤浪祐一郎・安藤 忠(水産機構西海水研)・日野明寛(日本製粉)
- 15:06 216 マダイの卵成熟開始前後の卵濾胞における遺伝子発現
 °奥澤公一・宇治 督・鈴木博史・尾崎雄一・風藤行紀(水産機構増養殖研)・
 藤原篤志(水産機構中央水研)
- 15:18 217 海面養殖に適した宮崎県産ヤマメ種苗の選抜育種の試み
 °上野 賢(宮崎大院農)・上林大介(宮崎水試)・宮西 弘(宮崎大農)・
 香川浩彦・内田勝久(宮崎大農)
- 15:30 218 組織学的観察による2倍体および3倍体ブリ当歳魚の生殖腺発達と比較
 °山口寿哉・嶋田幸典・風藤行紀・岡本裕之・石川 卓・
 吉田一範・尾崎雄一(水産機構増養殖研)・
 中条太郎・野田 勉・堀田卓朗・篠田理仁・藤浪祐一郎(水産機構西海水研)
- 15:42 219 ミトコンドリアDNA塩基配列にもとづくムツ属魚類の分類に関する研究
 °尾山 輝・糸井史朗・上田紘之・望月裕香子・田中みの梨・杉田治男(日大生物資源)・
 宍道弘敏(鹿児島水技セ)・増田育司(鹿大水)
- 15:54 220 バンドウイルカにおける体温と血中甲状腺ホルモン濃度の季節的変動と気候帯によるその差異
 °鈴木美和・坂野香穂・臼井俊樹(日大生物資源)・船坂徳子・瀬川太雄(三重大院生資)・
 桐畑哲雄(太地くじら博)・上迫春香・植田啓一(美ら島財団)・棟方有宗(宮城教育大)
- 16:06 221 バンドウイルカの血漿中代謝物質の特徴－イヌとの比較を通して－
 °鈴木美和(日大生物資源)・吉岡 基(三重大院生資)・
 大野 佳・阿久根雄一郎(名古屋港水族館)
- 16:18 222 バイオテレメトリーを用いたマナマコ行動特性調査Ⅰ－発信機装着による行動への影響の検討－
 °酒井勇一・前田高志(函館水試)・篠野恵利香・米山和良・高木 力(北大院水)
- 16:30 223 バイオテレメトリーを用いたマナマコ行動特性調査Ⅱ－個体位置推定による移動特性把握－
 °篠野恵利香(北大院水)・酒井勇一(函館水試)・下野 学(渡島水指)・
 米山和良・高木 力(北大院水)
- 16:42 224 大阪湾におけるアカガいの生息状況と成長
 °木村祐貴・辻村浩隆・佐野雅基(大阪環農水総研)
- 16:54 225 福井県三方五湖におけるヤマトシジミ幼生の時空間分布
 石井建祐・青海忠久・°富永 修(福井県大海洋生資)・宮本 康(福井里山里海湖研)・
 浜口昌巳(水産機構瀬水研)
- 17:06 226 アサリの高温耐性に関する実験的検証
 °吉田光寿(香川大院農)・山口一岩(香川大農)・一見和彦(香川大瀬戸内研セ)
- 17:18 227 メタボローム解析によるマガキの消化吸収特性
 °馬久地みゆき(水産機構中央水研)・松本才絵(水産機構増養殖研)・
 小林正裕(水産機構中央水研)

第 2 会 場

9月17日(月)

午 前

- 9:30 228 オスモティックポンプを用いた雌ウナギの人為催熟
 °川村恭子(海洋大)・尾崎雄一・風藤行紀(水産機構増養殖研)
- 9:42 229 生殖腺刺激ホルモン放出ホルモンとピモジド複合投与による雌ウナギの排卵誘導
 °川村恭子(海洋大)・風藤行紀(水産機構増養殖研)
- 9:54 230 成熟促進活性の高い組換えウナギ濾胞刺激ホルモン(rFSH)に特異的に含まれる N-型糖鎖の構造解析
 °風藤行紀・鈴木博史・尾崎雄一(水産機構増養殖研)

- 10:06 231 組換えウナギ濾胞刺激ホルモン (rFSH) を恒常発現する CHO 細胞のクローニングおよびクローン株から作製した rFSH の生物活性の検討
°鈴木博史・尾崎雄一(水産機構増養殖研)・喜多章大・川辺敏晃(アーク・リソース)・風藤行紀(水産機構増養殖研)
- 10:18 232 組換えニホンウナギ生殖腺刺激ホルモン投与により催熟した雄ウナギの輸精管のステロイドホルモン産生能
°尾崎雄一・鈴木博史・野村和晴・風藤行紀(水産機構増養殖研)
- 10:30 233 Morphology of the feeding apparatus in the herbivorous and omnivorous mudskippers
°TRAN XUAN LOI・Atsushi Ishimatsu(長大院水環)
- 10:42 234 養殖ブリにおける3型エストロジェン受容体の発現動態
°蓮平裕次・新井田 充(長大海セ)・堀田卓朗・藤浪祐一郎(水産機構西海水研)・征矢野 清(長大海セ)

午 後

- 13:30 235 加速度データからエゾアワビの産卵を抽出する手法の開発
°松本有記雄(水産機構東北水研)
- 13:42 236 超音波テレメトリーを用いたモクズガニ河川内行動の追跡試験
°宮川 棕・新居久也・坂下 拓(道栽培公社)・熊木朋子(北海道開発局札幌開建)
- 13:54 237 シシャモの臨界遊泳速度
°新居久也(道栽培公社)・牧口祐也(日大生物資源)・宮川 棕・上田 宏(道栽培公社)
- 14:06 238 河川生態系に放流された種苗アユの行方(1)ーカワウによる捕食ー
°高井則之・川辺 洪・戸倉健太・川崎健太郎(日大生物資源)・桑江朝比呂(港湾空港技研)
- 14:18 239 河川生態系に放流された種苗アユの行方(2)ー冷水病発症のタイミングー
°高井則之・竹内久登・間野伸宏(日大生物資源)・桑江朝比呂(港湾空港技研)
- 14:30 240 種子島・屋久島周辺海域におけるアオリイカ人工産卵礁周辺の海洋環境
°中村 亨・前川陽一・奥村順哉・田中香月・宮崎多恵子(三重大院生資)
- 14:42 241 イカナゴの成長・成熟における個体群特性：瀬戸内海と仙台湾の比較試験
°米田道夫・津崎龍雄・中村政裕・高橋正知・河野悌昌(水産機構瀬水研)・阿見彌典子(北里大海洋)・柴田淳也(広大環安セ)・富山 毅(広大院生物圏科)
- 14:54 242 イカナゴにおける潜砂時の呼吸・温度環境
°柴田淳也(広大環安セ)・遠藤 梓・富山 毅(広大院生物圏科)・西嶋 渉(広大環安セ)・坂井陽一(広大院生物圏科)
- 15:06 243 イカナゴにおける摂餌とメラニン凝集ホルモンの関係
°阿見彌典子・宮木香林・中條佳祐・天野勝文(北里大海洋)・中村政裕・津崎龍雄・米田道夫(水産機構瀬水研)
- 15:18 244 瀬戸内海におけるイシガレイの年齢、成長、産卵期
°山本昌幸(香川水試)・片山知史・洪 珮琪(東北大院農)
- 15:30 245 瀬戸内海燧灘西部海域における加入ヒラメの着底時期と成育場餌料環境の対応
°山田徹生(水産機構瀬水研)・渡邊昭生(愛媛水研セ)・阪地英男(水産機構中央水研)・本田 聡・首藤宏幸(水産機構瀬水研)
- 15:42 246 岩手県南の小規模砂浜海岸におけるマコガレイ稚魚の食性
°鈴木陽太・片寄 剛・林崎健一・朝日田 卓(北里大海洋)
- 15:54 247 日本海南西～東シナ海北部海域におけるアカアマダイ浮遊期仔稚魚の分布
°井関智明・八木佑太・後藤常夫(水産機構日水研)
- 16:06 248 岡山県日生町の造成アマモ場におけるシロメバルとスズキ稚魚の食性
°首藤宏幸・吉田吾郎(水産機構瀬水研)・草加耕司・中力健治(岡山水研)
- 16:18 249 和歌山県三尾地先においてアラメ海中林の再生に適した水深
°三橋賢太郎・荒川久幸(海洋大院)
- 16:30 250 飼育条件下におけるアカモク生殖器床の卵放出と幼胚数および発芽率
°瀬田智文・宮嶋俊明(京都海セ)
- 16:42 251 クロロフィル蛍光を活用した紅藻スサビノリの貧栄養ストレスの評価
°阿部真比古・塩田真由・村瀬 昇(水産機構水大校)

- 16:54 252 瀬戸内海中央部の浅海域におけるシロギスの出現と初期成長：2017-2018年の解析
..... °寺田裕司・小路 淳(広大院生物圏科)
- 17:06 253 サイズが異なるシロギスの産卵期間の推定
..... °中根康介・高橋篤史・山地悠也・阪本憲司・南 卓志(福山大生命工)
- 17:18 254 産卵期が長い魚種における有効な産卵期の推定—シロギス
..... °南 卓志・中根康介・黒田直也・山地悠也・高橋篤史・白石 彬・
小池 颯・中井雅人・濱田康貴・平松佑磨(福山大生命工)

第 3 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9:30 301 宮城県広瀬川アユ個体群の遡上期における瀬と淵の食物利用様式
..... °渡部亮介・伊藤絹子・片山知史(東北大院農)
- 9:42 302 先島諸島周辺海域におけるマグロ属・カツオ・ソウダガツオ属仔魚の種組成の年変動
..... °田邊智唯・西内 耕・大下誠二(水産機構西海水研)・
太田朋子・西本 慧・佐藤拓也(水産機構国際水研)・
武島弘彦・野原健司(東海大海洋)・鈴木伸明(水産庁)
- 9:54 303 日本産ヒョウモンダコのテトロドトキシン保有量と体内分布
..... °山手佑太・高谷智裕・竹垣 毅(長大院水環)
- 10:06 304 水産機構観測定線 A-line での2種類のプランクトンネットデータの比較
..... °葛西広海(水産機構北水研)・梅田晴子(海山川里)
- 10:18 305 スマ養殖技術開発試験8. 配合飼料を給餌した稚魚の成長
..... °佐々木進一・中島兼太郎・眞鍋諒太郎・莖田峻希(愛媛水研セ)・
入江 奨(フィードワン)
- 10:30 306 下顎側線孔の欠損が人工アユの遡上性に及ぼす影響
..... °占部敦史・長岩理央・隅川 和(高知内水漁セ)・海野徹也(広大院生物圏科)
- 10:42 307 長方形水槽内流れ場の可視化と考察
..... °加藤達也・山崎 渉(長岡技科大)・角田哲也(大島商船高専)・阪倉良孝(長大院水環)

午 後

- 13:30 308 極小ワムシ *Proales similis* の増殖と培養槽の形状の関係
..... °多賀須誠輝・脇村尚至・阪倉良孝・萩原篤志(長大院水環)
- 13:42 309 シオミズツボワムシ *Brachionus plicatilis* sp. complex に対する微細藻類 *Pseudococcomyxa* sp. KJ 株の餌料価値
..... °渡邊優音・阪倉良孝(長大院水環)・小林孝幸・福田裕章・渥美欣也(デンソー)・
萩原篤志(長大院水環)
- 13:54 310 高速増殖能力を有する小型 *Chaetoceros* 属
..... °一見和彦(香川大瀬戸内研セ)・野村美加・山口一岩・多田邦尚(香川大農)
- 14:06 311 高速増殖珪藻小型 *Chaetoceros* 属の屋外培養
..... °小野智也・山口一岩・多田邦尚(香川大農)・一見和彦(香川大瀬戸内研セ)
- 14:18 312 広島県佐木島におけるアサリ採苗に用いる網袋の目合および土の粒径の検討
..... °北口博隆・藤井啓子・満谷 淳(福山大生命工)
- 14:30 313 絶食時の水温がアコヤガイの生残および生理活性指標に及ぼす影響
..... °中岡典義・小田原和史(愛媛水研セ)
- 14:42 314 クエを効率的に成長させる給餌頻度
..... °森田哲男・今井 正(水産機構瀬水研)

- 14:54 315 種苗飼育海水のキャビテーション処理による害的コペポダ類の物理的駆除：処理条件と殺傷効率の検討
..... °栗田喜久(九大水実)・木島明博(東北大院農)・千葉郁雄(晃和工業)
- 15:06 316 波浪場におけるエゾアワビ人工種苗の行動特性
..... °中谷 鷹(福井県大院海洋生資)・瀬戸雅文(福井県大海洋生資)・巻口範人(道栽培公社)
- 15:18 317 大型シロギスの効率的な養殖にむけて(1)
～養殖シロギス大型化への取り組みと課題～
..... °藤川稔晃(福山大生命工)・大瀧一登(アベック)・占部侑子(アスコン)・有瀧真人(福山大生命工)
- 15:30 318 大型シロギスの効率的な養殖に向けて(2)
～仔稚魚の骨格異常におけるストレス関与の可能性～
..... °鶴巻佑介(京大院農)・藤川稔晃・南 卓志・有瀧真人(福山大生命工)・田川正朋(京大院農)
- 15:42 319 大型シロギスの効率的な養殖にむけて(3)
～天然シロギスの血中コルチゾール濃度解析～
..... °加瀬俊平(長大院水環)・薮平裕次・征矢野 清(長大海セ)
- 15:54 320 大型シロギスの効率的な養殖にむけて(4)
～しまなみテッポウギスを社会へ届けるために～
..... °大瀧一登(アベック)・占部侑子(アスコン)・藤川稔晃・有瀧真人(福山大生命工)
- 16:06 321 クロウミウマ稚魚の初期生残に及ぼすフムシ栄養強化剤および親魚の餌の影響
..... °黒澤菜海・水上雅晴(福山大生命工)
- 16:18 322 異なる飼餌料を給餌したクロマグロ稚魚の代謝物解析
..... °相馬智史・馬久地みゆき(水産機構中央水研)・玄 浩一郎・高志利宣・樋口健太郎(水産機構西海水研)・菊地 淳・坂田研二(理研CSRS)・吉川壮太(長崎水試)・門田洋二・大谷諒敬(林兼産業)・横山佐一郎(鹿大水)
- 16:30 323 スマ養殖技術開発試験9. マッシュ含有率の異なるモイストペレットが成長に与える影響
..... °眞鍋諒太郎・佐々木進一・中島兼太郎・山下浩史(愛媛水研セ)
- 16:42 324 タウリンおよびシステイン、システアミン添加飼料がヒラメ稚魚の成長および遊離アミノ酸含量に及ぼす影響
..... °中村康平・Gozales M M・伊藤智子(海洋大)・益田玲爾(京大院農)・近藤秀裕・廣野育生・芳賀 稜・佐藤秀一(海洋大)
- 16:54 325 多環芳香族炭化水素がギンザケのレドックス状態に及ぼす影響について
..... °中野俊樹・岡本円香・佐々木春佳・齋藤茉希・山内晶子・山口敏康・落合芳博(東北大院農)
- 17:06 326 オリーブ葉給餌が養殖ブリ普通肉の菌ごたえに与える効果
..... °野崎智絵(香大院農)・西山智朗(香大農)・日比光磨(香大院農)・赤澤隆志(愛媛大院連合農)・早川 茂(香大農)・大山憲一(香川県庁)・吉田 誠・向井龍男(香川水試)・小川雅廣(香大農)
- 17:18 327 マダコにおけるオメガ3多価不飽和脂肪酸の*de novo*生合成
..... °壁谷尚樹(東大院農)・D. Garrido(IEO-COC)・F. Hontoria・J.C. Navarro(IATS-CSIC)・D.B. Reis(CCMAR)・M.V. Martín(IEO-COC)・C.R. Rodríguez・E. Almansa(ULL)・Ó. Monroig(IATS-CSIC)

第 3 会 場

9 月 17 日 (月)

午 前

- 9:30 328 低塩分海水による蓄養がマダイの死後硬直に及ぼす影響
..... °東谷福太郎・川口 修・御堂岡あにせ(広島水海技セ)・岩本有司(広島県水産課)・馬淵良太・松本拓也・長尾則男・谷本昌太(県立広島大)

- 9:42 329 マダイの外傷回復を評価する血漿中のメタボライトマーカの探索
.....°田中麻緒(県広大院総合)・馬淵良太(県広大人文)・
川口 修・御堂岡あにせ・岩本有司・東谷福太郎(広島水海技セ)・
長尾則男(県広大生命)・松本拓也・谷本昌太(県広大人文)
- 9:54 330 ウナギ種苗生産用新規水槽
..... °張 成年・増田賢嗣(水産機構中央水研)・里見正隆(水産機構増養殖研)
- 10:06 331 ニホンウナギ仔魚におけるヒアルロン酸の蓄積:天然仔魚と人工仔魚の比較
..... °岡村明浩・山田祥朗・三河直美・堀江則行(いらご研)・
坂本洋平・塚本勝巳(日大生物資源)
- 10:18 332 ウナギ種苗生産における孵化仔魚生産数の長期変動
..... °堀江則行・三河直美・山田祥朗・岡村明浩・宇藤朋子(いらご研)・
塚本勝巳(日大生物資源)
- 10:30 333 サケ脳下垂体抽出液と組換えウナギ生殖腺刺激ホルモンでウナギを催熟・人工授精した場合の結果の
比較
..... °田中寿臣(静岡水技研)・尾崎雄一・風藤行紀(水産機構増養殖研)
- 10:42 334 組換えウナギ濾胞刺激ホルモンで催熟した雌ウナギの排卵や卵質に及ぼす追い打ちと最終投与物質の
種類や時期の影響
..... °田中寿臣(静岡水技研)・尾崎雄一・風藤行紀(水産機構増養殖研)

午 後

- 13:30 335 カイコ由来機能性多糖“シルクロース®”のハダシ症・カリグス症への効果
..... °西川宗徳(愛媛大院農)・三浦智恵美(広工大環境)・井戸篤史・三浦 猛(愛媛大院農)
- 13:42 336 カイコ由来免疫賦活化多糖:シルクロースの魚類腸管への作用
..... °中原颯太・Muhammad Fariz Zahir Ali・井戸篤史・三浦 猛(愛媛大院農)・
三浦智恵美(広工大環境)
- 13:54 337 ヒラメ及びマダイ由来のエドワジエラ属細菌2種の各種比較検討
..... °杉浦秀博(愛媛大院農)・門野真弥・山下はづき(高知大院農)・今城雅之(高知大農)
- 14:06 338 波浪特性の季節変化がウバガイの初期生活期に及ぼす影響
..... °大久保創平・瀬戸雅文(福井県大海洋生資)・巻口範人(道栽培公社)
- 14:18 340 貴金属抽出液を用いた液肥添加によるノリの色落ち回復の効果
..... °末次史拓(広大生物生産)・山本民次(広大院生物園科)・三上 裕(松田産業)
- 14:30 341 養殖ヒラメの性判別DNAマーカーの開発と性決定機構に関する考察
..... °澤山英太郎(愛媛大南水研セ)・赤瀬友里(まる阿水産)
- 14:42 342 第1卵割期圧力処理によるイワナの全雌四倍体の作出
..... °竹花孝太・川之辺素一・熊川真二・落合彦一・降幡 充(長野水試)
- 14:54 343 コイとフナ類の交雑個体の妊性と倍数性:3 4倍体作出の試みと3倍体F2の成熟
..... °名古屋博之・野村和晴・正岡哲治(水産機構増養殖研)
- 15:06 344 高温処理を用いた第2極体放出阻止による3倍体ブリ作出条件の検討
..... °山口寿哉・嶋田幸典・風藤行紀・岡本裕之・石川卓・吉田一範・
尾崎雄一・名古屋博之(水産機構増養殖研)・
中条太郎・野田 勉・堀田卓朗・水落裕貴・篠田理仁・藤浪祐一郎(水産機構西海水研)・
井上誠章(水産機構水工研)
- 15:18 345 遺伝子ノックダウンによる生殖細胞欠損クサフグ宿主の作出
..... °吉川廣幸・井野靖子・木下春哉・小役丸隼人(水産機構水大校)・
斎藤大樹(愛大南水研セ)・岸本謙太・木下政人(京大院農)・吉浦康寿(水産機構瀬水研)
- 15:30 346 ゲノム編集技術を用いた $mc4r$ 欠損トラフグの作出及びRNA-seqによる肝臓パスイ解析
..... °岸本謙太(京大院農)・吉川廣幸(水産機構水大校)・
黒柳美和・吉浦康寿(水産機構瀬水研)・木下政人(京大院農)
- 15:42 347 キンメダイ性判別方法の開発
..... °中村永介・木南竜平(静岡水技研)・高山浩司(京大院理)

- 15:54 348 GRAS-Di法を用いたブルーギル連鎖地図の構築
°内野 翼・須田亜弥子・岩崎裕貴・西木一生(水産機構中央水研)・
 奥 宏海・栗田 潤・山口寿哉・石川 卓・正岡哲治・岡本裕之(水産機構増養殖研)・
 藤原篤志(水産機構中央水研)
- 16:06 349 戻し交雑によるアコヤガイ白色家系の成長改善
°小田原和史・中岡典義(愛媛水研セ)
- 16:18 350 ミトコンドリアDNAによるクロダイの集団構造解析
°山下裕太郎・海野徹也(広大院生物園科)
- 16:30 351 DNAマーカーによる四万十川放流アユ種苗の識別と繁殖貢献の有無
°山田裕貴(愛媛大院農)・今城雅之(高知大農)・山下はづき(高知大院農)・堀岡喜久雄・
 大木正行(四万十川中央漁協)・辻 祐人(四万十市役所)・高木基裕(愛媛大南水研セ)
- 16:42 352 集団の遺伝的多様性を血縁dyadによって測る
°池田 実・安藤大樹(東北大フィールド研セ)
- 16:54 353 MIG-seq法を用いたイワナ集団の遺伝的特性評価
°中嶋正道・野沢理香(東北大院農)・山口光太郎(埼玉水研)・野知里優希(宮城内水試)・
 綱本良啓・廣田 峻・陶山佳久(東北大院農)
- 17:06 354 ゼブラフィッシュ核-ドジョウ細胞質雑種胚とヘテロプラスミー胚の胚発生能力
°遠藤 充・島 文華(北大院水)・山羽悦郎(北大フィールド科セ)・藤本貴史(北大院水)
- 17:18 355 マダコ幼生の初期餌料と光環境の検討
°岸 俊樹(東海大院海洋)・松原圭史(ホットランド)・阿部正美(グルメイト)・
 西川正純・片山亜優(宮城大)・グレドル・イアン・西谷 豪(東北大)・秋山信彦(東海大海洋)

第 4 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9:30 401 メダカ (*Oryzias latipes*) のインターロイキン 17 受容体 A の同定並びに腸管におけるその機能の探索
°岡村 洋・森本和月(宮崎大農)・河島奈悠・加藤豪司(海洋大院)・
 河野智哉・引間順一・酒井正博(宮崎大農)
- 9:42 402 マガキ血球亜集団のプロテオーム解析
°高橋計介・長谷川拓哉・石井啓文(東北大院農)
- 9:54 403 メダカ TNF- α 遺伝子の日内変動
°尾上禎佳・引間順一・酒井正博・河野智哉(宮崎大農)
- 10:06 404 ギンブナ CD8+T リンパ球の寄生原虫に対する細胞遊走活性
°助田将樹・塩田昂明・長沢貴宏・中尾実樹・柚本智軌(九大院農)
- 10:18 405 Functional analysis of two complement C4 isotypes of carp using recombinant proteins
°Nehlah Rosli・Akira Yamamoto・Takahiro Nagasawa・
 Tomonori Somamoto・Miki Nakao (Kyushu University)
- 10:30 406 ニジマスの鰓における IgT を中心とした液性免疫応答
°瀧澤文雄(福井県大海洋生資)・徐 鎮(華中農大)・
 柴崎康宏・丁 扬・J. Oriol Sunyer (ペンシルベニア大)
- 10:42 407 卵内物質輸送を可能にするモデルメダカの作出
°村上 悠(京大院農)・堀部智久(京大院医)・木下政人(京大院農)

午 後

- 13:30 408 マグロ・ミオグロビンのメト化機構に関する分子動力学シミュレーション
°小澤秀夫(神工大バイオ)・落合芳博(東北大院農)
- 13:42 409 Thermodynamic and autoxidation profiles of carangid fish myoglobins
°M.M. Hasan (Bangladesh Agric. Univ.)・小澤秀夫(神工大バイオ)・
 潮 秀樹(東大院農)・°落合芳博(東北大院農)

- 13:54 410 イカヘモシアニンの酸素結合測定システムの構築
..... °田中志帆・加藤早苗(鹿大院水)
- 14:06 411 アルギン酸資化細菌におけるアルギン酸由来不飽和単糖の酸化
..... °西山竜士・井上 晶・尾島孝男(北大院水)
- 14:18 412 ヒラメ体側筋アデニル酸キナーゼおよびアデニル酸デアミナーゼの基本性状
..... °荒井健太・箭木慎也・西山竜士・井上 晶・尾島孝男(北大院水)
- 14:30 413 ヒラメ体側筋アデニル酸キナーゼとアデニル酸デアミナーゼによるアデニンヌクレオチド変換反応の
解析
..... °荒井健太・西山竜士・井上 晶・尾島孝男(北大院水)
- 14:42 414 異なる塩分環境下で飼育したクルマエビの筋肉で発現するタンパク質の網羅的解析
..... °山川 鈴・国吉久人(広大院生物圏科)・渡部終五(北里大海洋)・
小山寛喜(広大院生物圏科)
- 14:54 415 Biochemical studies of alginate lyases from a polyhydroxyalkanoate (PHA) producing bacterium
Hydrogenophaga sp. UMI-18
..... °Joemark Narsico・Takahiro Yamaguchi・Ryuji Nishiyama・
Akira Inoue・Takao Ojima(北大院水)
- 15:06 416 異なる温度条件下における紅藻スサビノリ高水温耐性品種のトランスクリプトーム解析
..... °丸本 亮・柿沼 誠(三重大院生資)・五十嵐洋治・篠原幹拓・
木下滋晴・浅川修一(東大院農)・岩出将英・山田大貴(三重水研)
- 15:18 417 Piwi-interacting RNA (piRNA) expression patterns in pearl oyster (*Pinctada fucata*) somatic and
gonad tissues
..... °Songqian Huang・Yuki Ichikawa・Yoji Igarashi・Kazutoshi Yoshitake・
Shigeharu Kinoshita (Univ. Tokyo)・Fumito Omori・Kaoru Maeyama (Mikimoto Pharma)・
Kiyohito Nagai (Mikimoto Pearl Res. Lab.)・Shugo Watabe (Kitasato Univ.)・
Shuichi Asakawa (Univ. Tokyo)
- 15:30 418 Gene expression profile in different stages for formation of pearl sac and pearl in the pearl oyster
Pinctada fucata
..... °Mariom・Saori Take・Kazutoshi Yoshitake・
Shigeharu Kinoshita・Shuichi Asakawa(東大院農)・Kaoru Maeyama(御木本製薬)・
Kiyohito Nagai(ミキモト真珠研)・Shugo Watabe(北里大海洋)
- 15:42 419 Reconstruction and structural analysis of red color-related pigment-binding protein derived from
Litopenaeus vannamei
..... °Chuang Pan・Shoichiro Ishizaki(TUMSAT)・Yuji Nagashima(Niigata Agro-Food Univ)
- 15:54 420 アコヤガイ(*Pinctada fucata*)真珠の黄色度と真珠層厚に与えるピース貝の影響
..... °篠原幹拓・木下滋晴・浅川修一(東大院農)・船原大輔・柿沼 誠(三重大院生資)・
前山 薫(御木本製薬)・永井清仁(ミキモト真珠研)・
淡路雅彦(水産機構増養殖研)・渡部終五(北里大海洋)

第 4 会 場

9 月 17 日 (月)

午 前

- 9:30 421 ウニ生殖巣の脂質分析と抗炎症成分の探索
..... °春日涼捺・浦 和寛・宮下和夫・細川雅史(北大院水)
- 9:42 422 サケ精巣中に含まれるフラン脂肪酸の濃縮と炎症性因子発現抑制効果
..... °大村聡実(北大院水)・内田 肇・鈴木敏之・板橋 豊(水産機構中央水研)・
Donato Romanazzi・Matthew R. Miller・Serean L. Adams(Cawthron Institute, NZ)・
宮下和夫・細川雅史(北大院水)
- 9:54 423 ホタテ貝副次産物由来オイルの摂取によるⅡ型糖尿病／肥満モデルKK-Ay マウスの脂質代謝改善作用
の検証
..... °杉本光輝・清水英人・谷崎敏文・細見亮太・吉田宗弘・福永健治(関大院化)

- 10:06 424 イカ類の表皮色素に関する研究
..... °塚本友美・伊藤裕才(共立女子大院家政)
- 10:18 425 褐藻の色落ち誘導とフコキサンチン含量に関する研究
..... °松岡優奈・小泉次郎・三上浩司(北大院水)・遠藤 光(鹿大水)・
多田篤司・棚田教生(徳島農水総技セ)・宮下和夫・細川雅史(北大院水)
- 10:30 426 *Asterionellopsis glacialis*のD-アスパラギン酸
..... °横山雄彦・山口峰生(北里大海洋)・徳田雅治(水産機構増養殖研)
- 10:42 427 渦鞭毛藻類 *Heterocapsa circularisquama* が有する光依存性抗菌物質に関する研究
..... リウエンチェン・山口健一・°小田達也(長大水)

第 5 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9:54 501 海洋微生物・ウイルス間相互作用の解明に向けた海洋真核微生物の群集ダイナミクス解析
..... °富永賢人(京大院農)・山本圭吾(大阪環農水総研)・左子芳彦・吉田天士(京大院農)
- 10:06 502 一酸化炭素 (CO) 資化性菌の鍵酵素、CO デヒドロゲナーゼの系統学的多様性
..... °中元一星・井上真男・大前公保・大黒達希(京大院農)・緒方博之(京大化研)・
吉田天士・左子芳彦(京大院農)
- 10:18 503 海洋性真核微細藻類が原核生物群集構造に与える影響に関する研究
..... °武部紘明・富永賢人(京大院農)・山本圭吾(大阪環農水総研)・
左子芳彦・吉田天士(京大院農)
- 10:30 504 網羅的転写解析による海洋性一酸化炭素 (CO) 資化性菌のCO代謝経路の探索
..... °和泉原 光・井上真男・福山宥斗・吉田天士・左子芳彦(京大院農)
- 10:42 505 鹿児島湾海底堆積物からの水素生成型一酸化炭素 (CO) 資化性菌の分離と性状解析
..... °日野太貴・谷村あゆみ・井上真男・大神優佑・福山宥斗・大黒達希(京大院農)・
前田広人(鹿大水)・吉田天士・左子芳彦(京大院農)

午 後

- 13:30 506 Seasonal change in the biotic communities by metagenomic analyses on seawater samples collected through 5.0 µm-filters from the Ofunato Bay
(大船渡湾5 µmフィルター回収海水試料のメタゲノム解析で調べた生物群集の季節変化)
..... ° Saki Yanagisawa・Nanami Mizusawa・Jonaira Rashid・Atsushi Kobiyama・Yuri Ikeda・
Tosiaki Kudo・Yuichiro Yamada・Md. Shaheed Reza・Mitsuru Jimbo・Daisuke Ikeda・
Shigeru Sato・Takehiko Ogata (Kitasato Univ.)・Shinnosuke Kaga (Iwate Pref. Office)・
Shiho Watanabe・Kimiaki Naiki・Yoshimasa Kaga・
Satoshi Segawa (Iwate Fish. Technol. Ctr.)・Kazuho Ikeo (Nat. Inst. Genet.)・
Katsuhiko Mineta・Vladimir Bajic・Takashi Gojobori (KAUST)・
Shugo Watabe (Kitasato Univ.)
- 13:54 507 Seasonal fluctuation of the microbial community in seawater samples trapped on 0.8-µm pore size filters from the Ofunato Bay
..... ° Jonaira Rashid・Atsushi Kobiyama・Saki Yanagisawa・Nanami Mizusawa・
Md. Shaheed Reza・Yuichiro Yamada・Yuri Ikeda・Daisuke Ikeda・Shigeru Sato・
Toshiaki Kudo (Kitasato Univ.)・Kazuho Ikeo (Nat. Inst. Genet.)・
Shinnosuke Kaga (Iwate Pref. Office)・Shiho Watanabe・Kimiaki Naiki・
Yoshimasa Kaga・Satoshi Segawa (Iwate Fish. Technol. Ctr.)・
Katsuhiko Mineta・Vladimir Bajic・Takashi Gojobori (King Abdullah Univ. Sci. Technol.)・
Shugo Watabe (Kitasato Univ.)

- 13:42 508 メタゲノム解析による多摩川上、中、下流域の河川水および底泥中の細菌叢の比較
 °水澤奈々美・及川千晴・飯島真理子・Md. Shaheed Reza・大内大輔・山田雄一郎・
 小檜山篤志・池田有里・池田大介(北里大海洋)・池尾一穂(遺伝研)・
 緒方武比古・佐藤 繁・工藤俊章・安元 剛・神保 充(北里大海洋)・
 浦野直人(海洋大)・渡部終五(北里大海洋)
- 14:06 509 分子生物学的手法を用いた新規イプシロンプロテオバクテリア綱細菌の生息環境の探索
 °水谷雪乃(三重大院生資)・藤原一輝(三重大生資)・福崎智司・田中礼士(三重大院生資)
- 14:18 510 クルマエビ養殖池底泥の耕耘と微生物相の変化
 °内田基晴(水産機構瀬水研)・鈴木 隆(ファームスズキ)
- 14:30 511 飼料に混合した生分解性プラスチックがクルマエビの成長や病原菌耐性に与える影響
 深見公雄・°高木ふみ華(高知大農海)・園田航平・岡元 浩(ヒガシマル)・
 滝田昌輝・堀川貴生(カネカ)
- 14:42 512 本邦産底生性渦鞭毛藻 *Prorocentrum* 属の発生量ならびに *P. lima complex* および *P. caipirignum* の分子系統
 と下痢性貝毒産生能
 西村朋宏(コースロン研究所)・内田 肇・鈴木敏之(水産機構中央水研)・
 船木 紘・井原智穂・萩野恭子・橋本佳奈・有光慎吾・谷井勇太・阿部翔太(高知大農海)・
 田中幸記(高知大海洋研)・柳田一平(INO)・°足立真佐雄(高知大農海)
- 14:54 513 下痢性貝毒を高生産する本邦産 *Prorocentrum lima* 株の選抜とその毒生産に適した培地の選抜
 °橋本佳奈(高知大農海)・西村朋宏(コースロン研究所)・船木 紘(高知大農海)・
 内田 肇・鈴木敏之(水産機構中央水研)・山口晴生・足立真佐雄(高知大農海)
- 15:06 514 2018年春季に播磨灘で広域発生した *Alexandrium tamarense* の分布拡大の要因解析
 °山下泰司・濱崎正明(岡山水研)・宮原一隆(兵庫水技セ)・
 越智洋雅・小川健太(香川赤潮研)・秋山 諭・上田真由美(大阪環農水総研)・
 鬼塚 剛(水産機構瀬水研)
- 15:18 515 2018年春季に徳島県沿岸で発生した *Alexandrium tamarense* の出現特性と二枚貝毒化状況について
 °池脇義弘・吉田和貴・加藤慎治・多田篤司(徳島農水総技セ)・宮原一隆(兵庫水技セ)・
 秋山 諭・上田真由美(大阪環農水総研)・
 鬼塚 剛・坂本節子・紫加田知幸(水産機構瀬水研)
- 15:30 516 光学式有害プランクトン検出センサーによる現場モニタリングの有効性評価
 °吉田光男(JFEアドバンテック)・島崎洋平(九大院農)・大竹周作(大分県東部振興局)・
 井口大輝(大分水研)・本田清一郎・岡田靖彦(JFEアドバンテック)・大嶋雄治(九大院農)
- 15:42 517 八代海における *Chattonella* 属シストの分布密度および栄養細胞初期個体群密度と赤潮発生との関係
 °鬼塚 剛(水産機構瀬水研)・山口峰生(北里大海洋)・坂本節子・紫加田知幸・中山奈津子・
 北辻さほ・板倉 茂(水産機構瀬水研)・櫻田清成(熊本県海区漁業調整委員会)・
 安東秀徳(熊本県県北広域本部水産課)・吉村直晃(熊本県天草広域本部水産課)・
 向井宏比古(熊本水研セ)
- 15:54 518 *Karenia mikimotoi* 赤潮試水から検出されたRNAウイルス
 °長崎慶三・高野義人(高知大院)・布浦拓郎(JAMSTEC)・浦山俊一(筑波大生命環境)
- 16:06 519 広島県鞆の浦における海底耕耘による *Chattonella* 赤潮の発生予防
 °今井一郎・赤穂那海・各務彰記(北大院水)・中野温美(海洋大)・
 小池一彦・小原静夏・中島義弘・矢野良子(広大院生物園科)・
 萩原悦子・小川憲太・米山弘之(広島県)
- 16:18 520 有害赤潮藻類 *Karenia mikimotoi* の光合成に及ぼす栄養欠乏と光環境の影響
 °湯浅光貴(埼玉大院)・紫加田知幸(水産機構瀬水研)・西山佳孝(埼玉大院)
- 16:30 521 広島湾における有害赤潮渦鞭毛藻 *Karenia mikimotoi* の周年の動態と環境要因
 °坂本節子(水産機構瀬水研)・甲斐和佳(県広大院総合学術)・
 田淵知奈・谷口 典・上野智貴・内藤佳奈子(県広大生命環境)・
 阿部和雄・紫加田知幸(水産機構瀬水研)
- 16:42 522 有明海奥部におけるノリの色落ち原因珪藻の赤潮衰退期における増殖速度と栄養塩供給に対する応答
 °松原 賢・紫加田知幸・坂本節子・阿部和雄(水産機構瀬水研)・
 太田洋志・山口 聖・森川太郎・三根崇幸(佐賀有明水振セ)

第 5 会 場

9 月 17 日 (月)

午 前

- 10:18 523 リン循環解析による中海の環境改善に関する研究
..... °平田真陽・森川 豪(広大生物生産)・山本民次(広大院生物圏科)・
中本健二・及川隆仁(中国電力)
- 10:30 524 魚類養殖場の堆積物中の形態別リンの鉛直分布
..... °多田邦尚・大坊寿成・朝日俊雅・山口一岩(香川大農)・一見和彦(香川大瀬戸内研セ)
- 10:42 525 新生堆積物による底質改善材の性能変化に関する研究
..... °Kyunghoi Kim・Seok-Jin Oh・Chang-Geun Choi(Pukyong National University)

午 後

- 13:30 526 都市部運河域(東京湾内湾)の魚類生息場～干潟・浅場造成の評価～
..... °丸山啓太(海洋大)・竹山佳奈(五洋建設)・河野 博(海洋大)
- 13:42 527 都市部運河域(大阪湾内湾)の魚類生息場～直立護岸の魚類生息場形成の効果～
..... °竹山佳奈(五洋建設)・丸山啓太(海洋大)・平川 倫・岩見和樹(徳島大)・
河野 博(海洋大)・山中亮一・上月康則(徳島大)
- 13:54 528 貴金属抽出液を用いた海域用固形肥料の実用化に関する研究
..... °平尾優介・山本民次(広大院生物圏科)・三上 裕(松田産業)
- 14:06 529 気候変動による水温上昇が瀬戸内海の藻場に及ぼす影響～RCPシナリオに基づいた将来予測～
..... °島袋寛盛・吉田吾郎(水産機構瀬水研)・郭 新宇・吉江直樹(愛媛大沿岸研セ)・
村瀬 昇・野田幹雄(水産機構水大校)・清本節夫・門田 立・吉村 拓(水産機構西海水研)
- 14:18 530 海水からヒラメ体内へのストロンチウム移行実験
..... °石川義朗・今井祥子・谷 亨・多胡靖宏・高久雄一・久松俊一(環境科技研)
- 14:30 531 福島第一原発近傍の貯水池に生息する淡水魚の放射性セシウム濃度
..... °和田敏裕・アレクセイコノプレフ・脇山義史・渡邊憲司・難波謙二(福島大)
- 14:42 532 福島県北部の布川流域におけるヤマメとイワナの放射性セシウム濃度の差異とその要因の検討
..... °古田悠真・和田敏裕・難波謙二(福島大)・佐藤利幸・川田 暁(福島水産資源研)
- 14:54 533 福島県の湖沼に生息するウグイの¹³⁷Cs濃度の生まれ年による差異
..... °鷹崎和義(福島内水試)・富谷 敦(福島県水産事務所)・和田敏裕(福島大)・
中久保泰起・寺本 航(福島内水試)・佐藤利幸(福島資源研)・
佐々木恵一・早乙女忠弘(福島内水試)・川田 暁(福島資源研)・藤田恒雄(福島内水試)
- 15:06 534 メダカレチノイン酸受容体 α サブタイプの攪乱
..... °山本裕也(長浜バイオ大院)・山本 怜(長浜バイオ大)・
酒井琴和・池内俊貴(長浜バイオ大院)
- 15:18 535 瀬戸内海における漁網用防汚物質TPB-18のモニタリング
..... °河野久美子・隠塚俊満・伊藤克敏・羽野健志・持田和彦(水産機構瀬水研)
- 15:30 536 夜光衛星画像を用いた対馬海峡における夏季及び秋季の集魚灯漁船の動向
..... °嶋田陽一(水産機構水大校)

第 6 会 場

9 月 16 日 (日)

午 前

- 9:30 601 低品質ノリの機能性成分と規格化に関する研究
..... °柿沼 誠・山内 翼(三重大院生資)・前山 薫・服部文弘・大森文人(御木本製薬)・
石田典子(水産機構中央水研)

- 9:42 602 二次加熱がブリ肉の臭い成分に及ぼす影響
..... °濱川祐実(県広大院総合)・馬淵良太・谷本昌太(県広大人文)
- 9:54 603 冷凍すり身の戻り反応の種特異性および温度依存性に関する研究
..... °山田晃樹・松宮政弘・福島英登(日大生物資源)
- 10:06 604 スターター菌株を用いたサバへしこ(糠漬け)製造の試み
..... °大泉 徹・堀川玲於奈・羽田凌大(福井県大海洋生資)・里見正隆(水産機構増養殖研)
- 10:18 605 ギス肉の加熱ゲル形成と戻りについてⅤ
..... 中溝量子(東大院農/鈴廣魚肉たんぱく研)・°小南友里(東大院農)・林 達也(東大院数理)・
中谷操子・岡田 茂(東大院農)・松岡洋子・植木暢彦・万 健栄(鈴廣魚肉たんぱく研)・
渡部終五(鈴廣魚肉たんぱく研/北里大海洋)・潮 秀樹(東大院農)
- 10:30 606 イトヨリダイ肉加熱ゲルの火戻りについて
..... °中溝量子(東大院農/鈴廣魚肉たんぱく研)・小南友里(東大院農)・
林 達也・穂坂秀昭(東大院数理)・中谷操子(東大院農)・
松岡洋子・植木暢彦・万 健栄(鈴廣魚肉たんぱく研)・
渡部終五(鈴廣魚肉たんぱく研/北里大海洋)・潮 秀樹(東大院農)
- 10:42 607 冷凍工程での高周波電磁波照射効果
..... °佐藤 実・山内晶子・山口敏康・中野俊樹・落合芳博・片山知史(東北大院農)

午 後

- 13:30 608 冷凍ブリフィレー中の筋原線維タンパク質の生化学的性状追跡
..... °西田沙織・加藤早苗(鹿大院水)
- 13:42 609 たもすくい網漁業で漁獲されたマサバにおける首折り処理の品質保持効果の検証および筋肉の硬さに
影響を及ぼす要因
..... °橋本加奈子・川島時英(千葉水総研セ)
- 13:54 610 フグ卵巣ぬか漬の毒性と毒成分
..... 岡山桜子・桐明 絢(海洋大)・永井 慎(岐阜医療科学大)・
石崎松一郎(海洋大)・°長島裕二(海洋大・新潟食農大)
- 14:06 611 フグ卵巣ぬか漬製造工程における減毒
..... 岡山桜子・桐明 絢(海洋大)・永井 慎(岐阜医療科学大)・
石崎松一郎(海洋大)・°長島裕二(海洋大・新潟食農大)
- 14:18 612 テトロドトキシンの定量NMR法の開発と類縁体における相対モル感度の算出
..... °谷岡真里(日大生物資源)・渡邊龍一・内田 肇・松嶋良次・及川 寛(水産機構中央水研)・
松宮政弘(日大生物資源)・鈴木敏之(水産機構中央水研)
- 14:30 613 アニサキス主要アレルゲンAni s 11の天然品の精製およびアミノ酸配列の再検討
..... °嶋倉邦嘉・関口 匠・征矢野 倭・黒瀬光一・小林征洋(海洋大)
- 14:42 614 ミル貝喫食による麻痺性貝中毒患者由来尿および血漿のLC/MS/MS分析
..... °渡邊龍一(水産機構中央水研)・恒光健史(兵庫県尼崎総合医療セ)・
谷岡真里(日大生物資源)・内田 肇・松嶋良次・及川 寛(水産機構中央水研)・
松宮政弘(日大生物資源)・鈴木敏之(水産機構中央水研)
- 14:54 615 ナミガイにおける麻痺性貝毒成分の蓄積
..... °及川 寛・松嶋良次・渡邊龍一・内田 肇(水産機構中央水研)・
宮原一隆(兵庫水技セ)・鈴木敏之(水産機構中央水研)
- 15:06 616 麻痺性貝毒簡易検出キットによる毒化アサリの分析
..... °及川 寛・松嶋良次・渡邊龍一・内田 肇(水産機構中央水研)・
柴原裕亮・大橋拓未・近藤忠宗・奥 裕一(日水製薬)・
山本圭吾(大阪環農水研)・鈴木敏之(水産機構中央水研)
- 15:18 617 イムノクロマト法を用いた麻痺性貝毒検出法の開発
..... °柴原裕亮・奥 裕一・大橋拓未・近藤忠宗(日水製薬)・
及川 寛・松嶋良次・渡邊龍一・内田 肇・鈴木敏之(水産機構中央水研)・
川津健太郎(大安研)

- 15:30 618 塩辛原料スルメイカの付着細菌叢解析およびイカ塩辛製品細菌叢解析の再現性
°大内大輔・水澤奈々美・渡邊雄樹・高橋良広・安元 剛・神保 充(北里大海洋)・
 長岡敦子・植木暢彦・松岡洋子・万 建栄(鈴廣蒲鉾)・渡部終五(北里大海洋)
- 15:42 619 マナマコ、フジナマコ粉末摂取による肝臓脂質蓄積抑制作用
 °真鍋彰悟・前多隼人(弘前大院農生)
- 15:54 620 褐藻エゾノネジモクのメラニン合成阻害能と抗酸化能
 °太田光一郎・山内晶子・中野俊樹・山口敏康・落合芳博(東北大院農)
- 16:06 621 A novel complex type N-glycan-specific lectin from the calcareous green alga *Halimeda borneensis*
 exhibits a strong anti-influenza virus activity
 (石灰緑藻 *Halimeda borneensis* 由来新規複合型糖鎖特異的レクチンは強い抗インフルエンザウイルス活
 性を示す)
 Jinmin Mu・° Makoto Hirayama・Kanji Hori(広大院生物園科)・
 Yuichiro Sato・Kinjiro Morimoto(安田女大薬)
- 16:18 622 ハモ骨エタノール抽出エキスの抗腫瘍効果
 °伊藤智広(三重大院生資)・住 慶太郎(近大院農)・安藤正史・塚正泰之(近大農)・
 市川知明(大寅蒲鉾)

第 6 会 場

9 月 17 日 (月)

午 前

- 10:06 623 最適制御理論を用いた自然資本の評価－地域水産資源の事例－
 °和田佳樹・嶋崎善章(秋田県大シス科技)
- 10:18 624 我が国の魚食多様性の変化とその要因
 °大石太郎・望月政志(福工大社環)・八木信行(東大院農)
- 10:30 625 提言報告：CoC 認証と追跡可能性におけるブロックチェーン導入の意義と課題
 °小川 健(専修大経)
- 10:42 626 ホタテガイの中国向け輸出拡大と国内産地への影響等に関する考察
 河原昌一郎(福井県大海洋生資)・°高橋祐一郎・末永芳美(農水政策研)

第 7 会 場

9 月 16 日 (日)

ポスター発表 I

奇数：11:15～12:00 偶数：12:30～13:15

- 901 北太平洋南西部トビイカについて1：漁獲調査
 °加藤慶樹・下光利明・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)
- 902 北太平洋南西部トビイカについて2：塩基配列分析に基づく資源構造
 °若林敏江・和田吉晃・高橋航平(水産機構水大校)・
 加藤慶樹・下光利明・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)
- 903 北太平洋南西部トビイカについて3：分布と日齢解析
 °和田吉晃・若林敏江(水産機構水大校)・
 加藤慶樹・下光利明・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)
- 904 北太平洋南西部トビイカについて4：餌生物
 °下光利明・加藤慶樹・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)

- 905 北太平洋南西部トビイカについて5: 利用
.....°阿保純一(水産機構東北水研)・若林敏江(水産機構水大校)・
三木奈都子(水産機構中央水研)・
加藤慶樹・下光利明・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)
- 906 北太平洋南西部トビイカについて6: 流通
.....°三木奈都子・三木克弘(水産機構中央水研)・阿保純一(水産機構東北水研)・
若林敏江(水産機構水大校)・加藤慶樹・下光利明・高橋晃介・山下秀幸(水産機構開発セ)
- 907 北太平洋南西部トビイカについて7: 資源
.....°阿保純一(水産機構東北水研)・加藤慶樹(水産機構開発セ)・若林敏江(水産機構水大校)
- 908 定置網における来遊予測の試み
.....°瀬藤 聡・日高清隆(水産機構中央水研)・廣田 勇・小田憲太郎・保尊 脩・
日高浩一・岩原由佳(水産機構開発セ)・猪原 亮・林 芳弘(高知水試)
- 909 機械学習・深層学習による6か月先の都井岬沖黒潮離岸距離予測の試み
.....°瀬藤 聡・清水勇吾・日下 彰(水産機構中央水研)・森永健司(水産機構国際水研)
- 910 データロガーから得られたホッケの日周鉛直移動パターン
.....°鈴木祐太郎(稚内水試)・白川北斗・宮下和士(北大フィールド科セ)
- 911 音響機器を用いた水中可視化技術の水産分野への応用
.....°西 翔太郎・高島創太郎・古殿太郎・西林健一郎・大野敦生・峯岸宣遠(いであ)・
梶川和武(水産機構水大校)
- 912 微細藻 *Tetraselmis* sp. の凍結解凍復元が可能な試験細胞
.....°徳田雅治(水産機構増養殖研)
- 913 アルテミア単為発生クローンの幼生産出に及ぼす給餌微細藻の影響比較
.....°徳田雅治(水産機構増養殖研)・横山雄彦(北里大海洋)
- 914 水産餌料用藻類 *Nannochloropsis oculata* の生体膜の性状と高度不飽和脂肪酸蓄積の関係
.....°松井英明(鹿大院連農)・小谷知也(鹿大水)
- 915 水産初期餌料へのオーランチオキトリウムの利用
.....°今村伸太郎・加藤智美・世古卓也(水産機構中央水研)・清水智仁(水産機構西海水研)・
青谷樹里・吉田昌樹・石田健一郎(筑波大)・石原賢司(水産機構中央水研)
- 916 仔魚飼育用モデル水槽内の流れパターンの検証
.....°角田哲也(大島商船高等専門学校)・山崎 渉(長岡技術科学大学)・坪郷浩一(放送大学)
- 917 微細藻類給餌ワムシ解凍処理物のウナギ類仔魚に対する餌料価値
.....垣内美由紀・°永田兼大(鹿大水)・菊池新光子(かごしま水族館)・
塩崎一弘・小谷知也(鹿大水)
- 918 低塩分海水がニホンウナギ仔魚の無給餌生残指数等に及ぼす効果の生理的役割
.....°高橋祐太・鈴木滉大・石橋泰典(近大農)・
野村和晴・須藤竜介・田中秀樹(水産機構増養殖研)
- 919 ニホンウナギ仔魚の無給餌生残指数等に及ぼす各種海水、抗生物質および飼育容器の影響
.....°鈴木滉大・高橋祐太・石橋泰典(近大農)・
野村和晴・須藤竜介・田中秀樹(水産機構増養殖研)
- 920 明暗および飼育水の水流発生法が、クエ仔魚の行動および飼育成績に及ぼす影響
.....°池田大起・石橋泰典(近大農)
- 921 飼育密度がクエおよびクロマグロ仔魚の生残率、成長等に及ぼす影響
.....°池田大起・武田崇史・石橋泰典(近大農)
- 922 エゾアワビ優良種苗の効率生産に関する研究
.....°山口宇門・下田悠介・足立賢太・森山俊介・古川史也・小山夢玄(北里大海洋)・
古川季宏・石橋朋弥(北日本水産)・奥村誠一(北里大海洋)
- 923 湯通しスジメを利用したキタムラサキウニ養殖手法の現場海域における実証試験
.....°菅原 玲(道中央水試)・那須俊宏(宗谷水指利尻支所)・菅原浩明(後志水指岩内支所)・
武田忠明・三上加奈子・高橋和寛・園木詩織・中島幹二(道中央水試)・
宮崎亜希子・秋野雅樹・守谷圭介(釧路水試)・鵜沼辰哉(水産機構北水研)
- 924 旨味物質がブリの摂餌量と食欲関連ホルモン・味覚受容体の遺伝子発現量に及ぼす影響
.....°泉水彩花・益本俊郎・深田陽久(高知大農)

- 925 Response of cholecystokinins in red sea bream (*Pagrus major*) to feeding and fasting
 ° Tran Thi Mai Huong (Kochi Univ.) · Koji Murashita (NRIA, FRA) ·
 Toshiro Masumoto · Haruhisa Fukada (Kochi Univ.)
- 926 家禽加工残渣主体の無魚粉飼料がミルクフィッシュの成長に及ぼす影響
 ° 杉田 毅 (国際農研) · Amafe B. GAVILE (SEAFDEC/AQD) ·
 Joemel B. SUMBING (横浜国大)
- 927 微細藻の細胞壁破壊粉末を用いたマナマコ *Apostichopus japonicus* 高成長飼料作製に関する研究
 ° 足立賢太 · 五十嵐あやめ · 奥村誠一 · 森山俊介 · 笠井宏朗 (北里大海洋)
- 928 クサフグ早熟化技術の開発
 片山貴士 (水産機構日水研) · ° 今井 正 · 吉浦康寿 (水産機構瀬水研)
- 929 ステレオカメラによる養殖マダイの尾叉長・体重推定
 ° 田中達也 · 米山和良 · 池田龍之介 · 高木 力 (北大院水) · 中村悟史 (古野電気)
- 930 アサリの成長と成熟に及ぼす地盤高の影響
 ° 櫻井 泉 · 山本汐音 · 青木美那海 (東海大生物) · 山田俊郎 · 高橋伸次郎 (西村組)
- 931 低塩分蓄養したマダイの筋肉におけるメタボロミクスおよび官能評価
 ° 馬淵良太 · 石丸絢也香 (県広大生命環境) ·
 趙 慧卿 · 田中麻緒 · 好井みなみ (県広大院生命科) ·
 川口 修 · 御堂岡あにせ · 岩本有司 · 東谷福太郎 (広島水海技セ) ·
 長尾則男 (県広大院生命科) · 松本拓也 · 谷本昌太 (県広大生命環境)
- 932 Growth performance of milkfish in marine pen culture designed for Integrated Multi-Trophic Aquaculture (IMTA)
 Rose Ann Diamante (SEAFDEC/AQD) · ° 児玉真史 (国際農研セ) ·
 Nerissa D. Salayo · Raisa J. Castel (SEAFDEC/AQD)
- 933 Impact of short-term hyposalinity stress on Akoya pearl oyster, *Pinctada fucata*
 Novi ARISMAN · Nadia ISTIQOMAH · ° Takao YOSHIMATSU (三重大院生資)
- 934 オオクチバスのドラフトゲノムの構築
 ° 内野 翼 · 須田亜弥子 · 西木一生 (水産機構中央水研) ·
 奥 宏海 · 栗田 潤 · 山口寿哉 · 石川 卓 · 正岡哲治 · 岡本裕之 (水産機構増養殖研) ·
 藤原篤志 (水産機構中央水研)
- 935 津軽石川シロザケの遡上全期にわたる雌雄別遺伝特性解析
 ° 北村志乃 · 塚越英晴 (岩手大三陸水研セ) · 太田克彦 · 清水勇一 · 川島拓也 (岩手水技セ) ·
 小川 元 (岩手沿広水) · 山根広大 (岩手県庁) · 後藤友明 · 阿部周一 (岩手大三陸水研セ)
- 936 ゲノム編集技術を用いた fads2 ノックインマダイの作出
 ° 柿本貴広 (京大院農) · 鷲尾洋平 · 大濱光希 (近大水研) · 壁谷尚樹 (東大院農) ·
 吉崎悟朗 (海洋大) · 家戸敬太郎 (近大水研) · 木下政人 (京大院農)
- 937 マダイ *forkhead box L3* 遺伝子編集による早期精子獲得の試み
 ° 鷲尾洋平 · 大濱光希 (近大水研) · 岸本謙太 · 十河暁子 (京大院農) · 豊田 敦 (遺伝研) ·
 吉浦康寿 (水産機構瀬水研) · 岡元 浩 (ヒガシマル) · 田中 実 (名古屋大) ·
 木下政人 (京大院農) · 家戸敬太郎 (近大水研)
- 938 シルクローズのパナメイエビに対する耐病性付与効果
 ° 三浦智恵美 · 大石雅也 (広工大環境) · Muhammad Fariz Zahir Ali ·
 Indri Afriani Yasin · 橋爪篤史 · 井戸篤史 · 三浦 猛 (愛媛大院農)
- 939 アコヤ真珠母貝の生育環境可視化システムの構築
 小西智久 · 小黒剛成 · ° 三浦智恵美 (広工大環境) ·
 岩井俊治 · 井戸篤史 · 三浦 猛 (愛媛大院農)
- 940 ヒラメ分泌型 TLR5 によるフラジェリン認識機構の解明
 ° 森本和月 (宮崎大農) · 近藤昌和 (水産機構水大校) ·
 河野智哉 · 酒井正博 · 引間順一 (宮崎大農)
- 941 Antioxidant Activity of Hydrolyzed Gelatin from Tuna Skin
 Mala Nurilmala · Athifah Hanani (Bogor Agric. Univ.) ·
 Eni Kusumaningtyas (Indonesian Res. Center Vet. Sci.) · ° 落合芳博 (東北大院農)

- 942 Effects of thawing method on the structure and biochemical properties changes of scallop adductor muscle
 °魏 華茂(岩手連大農)・田 元勇(大連海洋大)・中牟田信明(岩手大農)・
 佐々木邦明(岩手大理工)・山下哲郎・石村学志・袁 春紅(岩手大農)
- 943 100 MHz 電磁波を用いた解凍技術 —食材に対する加温効果—
 °山口敏康・竹内七海・山内晶子・中野俊樹・佐藤 実・落合芳博(東北大院農)
- 944 100 MHz 電磁波を用いた解凍技術 —電解質の影響—
 °竹内七海・山口敏康・中野俊樹・佐藤 実・落合芳博(東北大院農)
- 945 スラリーアイスを用いた鮮魚の海外輸出
 °吉岡武也・西村朋子・木下康宣(道工技セ)・輪嶋 史(ニッコー)・
 酒井勝則(積水化成品北海道)・秋山公司(ジョウヤマイチ佐藤)・
 澁谷俊也(イチマル澁谷漁業部)・小林真実・前田裕司(サンフーズ)
- 946 ヤマトシジミの砂出し・保存条件が品質に及ぼす影響
 °佐藤暁之・清水茂雅・楠田 聡(網走水試)・川尻敏文(西網走漁協)
- 947 漁獲後の保管条件がマナマコの品質に与える影響
 °成田正直・菅原 玲・三上加奈子・武田忠明・辻 浩司(道中央水試)
- 948 マサバの死後変化における脊髄破壊の効果
 °細井公富・梅澤昇樹・水田尚志・横山芳博(福井県大海洋生資)
- 949 ボイル処理時におけるマナマコ真皮の異常脆弱化
 —タンパク質の抽出とSDS-PAGEパターンの比較—
 °水田尚志・岡林佑太・細井公富・横山芳博(福井県大海洋生資)・成田正直(道中央水試)
- 950 Anti-inflammatory and anti-atopic activities of saringosterol isolated from hexane fraction of *Myagropsis myagroides*
 °Min-Ji Kim・Koth-Bong-Woo-Ri Kim・Ji-Hye Kim・Kwang-su Cho・
 Ji-Yeon Shim・Xiaotong Xu・Dong-Hyun Ahn(釜慶大水)
- 951 琵琶湖固有種ビワマスのPCR-RFLP法を用いた真贋判定法の開発
 °京田幸乃(長浜バイオ院)・松本千裕・山中駿也・村川直樹・
 菊永竜太郎・山田敬博・河内浩行(長浜バイオ大)
- 952 パルス電界印加による水産加工技術への利用に関する研究
 °菅原あかね(宮城大院食産)・伊藤 惇・石堂知香子・川端康之亮(極洋)・
 西川正純(宮城大院食産)
- 953 ホッキガイを用いた飯寿司製品開発の技術支援
 °三上加奈子・成田正直・菅原 玲・飯田訓之(道中央水試)
- 954 トラフグの有機カチオントランスポーター oct6 をコードする slc22a16 遺伝子のクローニング
 °松下直樹・高橋晶子・山本千里・松本拓也(県広大)・長島裕二(新潟食農大)
- 955 Protective effect of *Hizikia fusiforme* and *Chlorella* extracts against lead acetate-induced hepatotoxicity in rats
 °Joohyun Park・Jeong-Wook Choi・Min-Kyeong Lee・Youn Hee Choi・
 Taek-Jeong Nam(Pukyong National University)
- 956 タオヤギソウの機能性に関する研究
 °椎葉麻美子(宮城大院食産)・吉積一真(カネリョウ海藻)・
 浅野徳太郎・中園 聡(高木商店)・齋藤憲次郎(気仙沼水試)・西川正純(宮城大院食産)
- 957 グレリン含有シロサケ胃抽出物の生理作用に関する研究
 °眞々田 基・西川正純(宮城大院食産)・海谷啓之(国立循環器病研究センター)・
 木原 稔(東海大生物)

第 7 会 場

9 月 17 日 (月)

ポスター発表 II

奇数：11:15～12:00 偶数：12:30～13:15

- 1001 ゲノム編集マダいの精子拡散防止法の開発
..... °大濱光希・鈴木 晴・金津亮介・鷺尾洋平・家戸敬太郎(近大水研)
- 1002 サッパとポリプテルスの向網膜系について
..... °和田浩平・吉 貴博・山本直之(名大院生命農)
- 1003 カエルアンコウの“釣り行動”を支配する運動系
..... °佐藤寧々・萩尾華子・西野弘嵩・山本直之(名大院生命農)
- 1004 キンギョ (*Carassius auratus*) 小脳から大細胞性第8脳神経核への投射
..... °成塚友佳子・山本直之(名大院生命農)
- 1005 アカエイ *Dasyatis akajei* 子宮乳中の脂肪酸組成およびその合成器官の探索
..... °喜納泰斗・増田哲也・鈴木美和・朝比奈 潔(日大生物資源)
- 1006 ゼブラフィッシュ仔魚におけるコンドロイドヘリンの機能解析
..... °小杉真輝人(北大院水)
- 1007 みやざきサクラマスの生産過程における生理・内分泌学的要因の動態について
..... °内田勝久・上野 賢・伊良知正太郎・香川浩彦(宮崎大農)
- 1008 ニホンウナギの河川加入時における塩類細胞の変化
..... °小川郁未・古川史也(北里大海洋)・篠田 章(東医大生物)・
筒井繁行・阿見彌典子・吉永龍起(北里大海洋)
- 1009 天然オーストラリアウナギにおける形態的性分化期の推定
..... °堀内萌未・松谷紀明(北大院水)・P Mark Lokman(オタゴ大学)・
井尻成保・足立伸次(北大院水)
- 1010 哺乳類細胞を用いたナイルティラピア組換えFSHの作製
..... °多田 恵・李 丹・井尻成保・足立伸次(北大院水)
- 1011 イカナゴ属魚類における潜砂行動の生態的意義
..... °山路大一・吉永龍起・阿見彌典子・渡辺純平(北里大海洋)
- 1012 高水温飼育したオスのカワスズメの不妊化と性行動について
..... °加賀谷玲夢(帝京科学大)・野津 了・岡 慎一郎・中村 将(沖縄美ら島財団)
- 1013 マイワシ太平洋系群の孵化時期別の成長履歴比較
..... °新野洋平・上村泰洋・古市 生・須原三加・渡邊千賀子・
由上龍嗣・井須小羊子(水産機構中央水研)
- 1014 ボウズコンニャク(エボシダイ科)雄の成熟
..... °大富 潤・増田育司・廣渡海人(鹿大水)
- 1015 Distribution patterns and population dynamics of *Metapenaeopsis sibogae* (Penaeidae) in Kagoshima Bay, Japan
..... °Md. Mosaddequr Rahman(鹿大連農)・Jun Ohtomi(鹿大水)
- 1016 The Study of Influence by Physical Obstacles on Life History of Catadromous Species *Eriocheir japonicus* in Stream, Taiwan
..... °Liang-Hsien Chen(文大生科)
- 1017 馴致水温がマコガレイ稚魚の摂食・成長の水温応答に及ぼす影響
..... °櫻井玄人・富山 毅(広大院生物園科)
- 1018 宮城県女川湾における垂下養殖3種に付着する生物の出現状況と食性
..... °片山亜優(宮城大食産)・金子健司・倉石 恵・中村友香・藤井豊展(東北大院農)・
西川正純(宮城大食産)・木島明博(東北大院農)
- 1019 博多湾におけるアマモ場の魚類相の季節的変動
..... °安武由矢・望岡典隆(九大院農)
- 1020 飼育条件下における産卵後のミズダコ雌の生存期間と水温との関係
..... °佐野 稔(道総研稚内水試)

- 1021 瀬戸内海中央部の砂浜域における魚類群集の昼夜比較
..... °重本龍征(広大院生物生産)・小路 淳(広大院生物圏科)
- 1022 瀬戸内海中央部のアマモ場におけるアイゴの出現：2007-2017年の解析
..... °久保慶太郎(広大院生物生産)・小路 淳(広大院生物圏科)
- 1023 自然撓乱が生じたアマモ場における魚類群集の短期的・長期的応答
..... °吉川俊太郎・小路 淳(広大院生物圏科)
- 1024 岩手県沿岸のアマモ場におけるタケギンボの摂餌生態と震災後の変化
..... °片寄 剛・藤田 楓・鈴木陽太・朝日田 卓(北里大海洋)
- 1025 初期生活史解析に基づくニホンウナギの接岸機構の解明
..... °呉 青逸・吉永龍起(北里大海洋)・塚本勝巳(日大生物資源)・篠田 章(東医大生物)
- 1026 河川感潮域におけるニホンウナギ当歳魚の生息環境
..... °松川康介(九大院生資環)・望岡典隆(九大院農)
- 1027 ニホンウナギとオオウナギの棲みわけ河川におけるそれぞれの生息環境
..... °松重一輝・望岡典隆(九大院農)
- 1028 ニホンウナギにおける河川内分布の規定要因と微生物環境の選好性
..... °久米 学・寺島佑樹(京大フィールド研セ)・和田敏裕(福島大)・山下 洋(京大フィールド研セ)
- 1029 多摩川水系におけるウグイ属魚類の遺伝的特性
..... °白鳥史晃・井田 齋(北里大海洋)・奥山文弥(東京海洋大)・吉永龍起(北里大海洋)
- 1030 mtDNA の塩基配列分析によるグチ類 3 種の種判別とクログチの集団構造
..... °柳本 卓(水産機構中央水研)・酒井 猛(水産機構西水研)・黒坂浩平(水産機構開発セ)
- 1031 窒素安定同位体比分析による藻類生産に対する海底湧水の寄与率推定
..... °石田健大・竹内 優・杉本 亮・中島壽視(福井県大海洋生資)・本田尚美・谷口真人(地球研)・小林志保(京大院農)・小路 淳(広大院生物圏科)・富永 修(福井県大海洋生資)
- 1032 大阪湾におけるクルマエビ科小えび類の種構成の変遷
..... °山中智之(大阪環農水総研)
- 1033 オオツノヒラムシの産卵期における TTX 保有量の変動
..... °吉敷綾乃・上田紘之・糸井史朗・杉田治男(日大生物資源)
- 1034 海底湧水が沿岸底生生物の成長に与える影響
湧出域と対照域におけるゲージ実験による比較
..... °竹本昌平・小路 淳(広大院生物圏科)
- 1035 海底湧水が魚類の生息環境に及ぼす影響
..... °藤田浩司・小路 淳(広大院生物圏科)
- 1036 Current status and biodiversity of coldwater springs in Taiwan
..... °邱 郁文(台湾成大水科)・黄 大駿(台湾嘉藥環管)・謝 寶森(台湾高醫大生物)・梁 世雄(台湾高師大生科)
- 1037 Comparative study on filter-size fractionated microbial communities for seawaters in the Ofunato Bay
..... °Jonaira Rashid・Atsushi Kobiyama・Saki Yanagisawa・Nanami Mizusawa・Md. Shaheed Reza・Yuichiro Yamada・Yuri Ikeda・Daisuke Ikeda・Shigeru Sato・Toshiaki Kudo (Kitasato Univ.)・Kazuho Ikee (Nat. Inst. Genet.)・Shinnosuke Kaga (Iwate Pref. Office)・Shiho Watanabe・Kimiaki Naiki・Yoshimasa Kaga・Satoshi Segawa (Iwate Fish. Technol. Ctr.)・Katsuhiko Mineta・Vladimir Bajic・Takashi Gojobori (King Abdullah Univ. Sci. Technol.)・Shugo Watabe (Kitasato Univ.)
- 1038 簡易分析キットにより宮城県沿岸海水から *Alexandrium* spp. の毒量を調べるための前処理方法について
..... °奥村 裕(水産機構東北水研)・及川 寛(水産機構中央水研)・山崎千登勢(宮城水技セ)
- 1039 Using Pacific oyster (*Crassostrea gigas*) shall valve movements as a detection system for oxygen-deficient seawater around shellfish farms
..... °Suyeon Moon (Pukyong National University)・Dae Hyun Kim (OCEANTECH CO.)・Kyunghoi Kim・Chang Geun Choi・° Seok Jin Oh (Pukyong National University)

- 1040 The effect of light wavelengths on the production of paralytic shellfish poisoning (PSP) by the toxic dinoflagellate *Alexandrium tamarense* isolated from Korea
 ° Ki Taek Nam (Pukyong National University) ・
 Hyeon Ho Shin (Korea Institute of Ocean Science and Technology) ・
 Weol-Ae Lim (National Institute of Fisheries Science) ・
 Seok Jin Oh (Pukyong National University)
- 1041 渦鞭毛藻 *Alexandrium tamarense* および *A. catenella* の光応答
 ° 小檜山篤志・山田雄一郎・山口峰生 (北里大海洋)
- 1042 水圏由来高発酵酵母の単離と高ストレス下で酵母が蓄積する適合溶質の解析
 ° 内藤友香・別納彩子・石田真巳・岡井公彦 (海洋大環境) ・浦野直人 (海洋大エネルギー) ・
 鈴木耕太郎・高塩仁愛 (ゼンショー基盤研)
- 1043 東シナ海と太平洋に漂流するマイクロプラスチックの分布密度の差異
 ° 中島 良・八木光晴 (長大院水環) ・筒井英人・小田嶋嘉和・保科草太・眞角 聡・
 楠本成美・合澤 格・木下 宰・内田 淳・山脇信博・青島 隆・森井康宏 (長大水) ・
 清水健一 (長大院水環)
- 1044 水圏植物根圏微生物が持つ多環芳香族炭化水素分解能の解析
 ° 山本汐音・石田真巳・岡井公彦 (海洋大環境) ・浦野直人 (海洋大エネルギー) ・
 武井俊憲・高塩仁愛 (ゼンショー基盤研)
- 1045 都市水圏に生息する多環芳香族炭化水素 (PAHs) 分解菌の単離と PAHs 最適分解条件の検討
 ° 田村 将・石田真巳・岡井公彦 (海洋大環境) ・浦野直人 (海洋大エネルギー) ・
 鈴木耕太郎・高塩仁愛 (ゼンショー基盤研)
- 1046 海洋低温菌ラミナラナーゼの活性安定領域の解明
 ° 長瀬建悟・石田真巳・岡井公彦 (海洋大環境) ・浦野直人 (海洋大エネルギー) ・
 鈴木耕太郎・高塩仁愛 (ゼンショー基盤研)
- 1047 褐藻類リコペン β - シクラーゼの cDNA クローニングと機能同定
 ° 岩山俊幸・井上 晶・尾島孝男 (北大院水)
- 1048 cDNA サブトラクション法による低塩分海水で飼育したマダイにおける外傷回復関連遺伝子の探索
 松本拓也・° 山本千里 (県広大) ・川口 修・御堂岡あにせ・岩本有司・
 東谷福太郎 (広島水海技セ) ・馬淵良太・長尾則男・谷本昌太 (県広大)
- 1049 ヒラメ体側筋における 5'-ヌクレオチダーゼの発現解析と IMP 分解活性の解析
 ° 関 孝貴・西山竜士・井上 晶・尾島孝男 (北大院水)
- 1050 フグ交雑種の両親種判別法に関する研究
 ° 小山夏美・石崎松一郎 (海洋大院) ・柳本 卓 (水産機構中央水研) ・長島裕二 (新潟食農大)
- 1051 ビワマスの筋肉内脂肪の CT を用いた評価
 ° 林 知輝・眞田的貴・今井良政 (長浜バイオ院) ・河内浩行 (長浜バイオ大)
- 1052 味覚センサ等を用いたノリの品質評価と単価との関係
 ° 村山史康・草加耕司 (岡山水研) ・東畑 顕・石田典子 (水産機構中央水研)

高校生による研究発表プログラム

期日：平成30年9月16日（日）

時間：11時00分～16時00分

会場：2Fロビー

- 1101 小さな敵を探せ!!Ⅱ－日本海で見つけた大きな問題－
…………… 淡路大護・石川陸斗・上谷友汰稜・崎田幸村・高橋弥来・谷口絵梨・樋口日登志・
福井朋絵・森武蒼太・山口稜真・山本旅生・吉岡 希・吉田楓太（京都府立海洋高等学校）
- 1102 海洋高校をレストランにしよう～実習製品販売の市場調査と分析～
…… °大西 蓮・中村結愛・佐藤鉄太・有吉雪野・鈴木 寛・辻井溪人（京都府立海洋高等学校）
- 1103 ミズクラゲにおける感覚器と傘の開閉運動の関係
…………… °松永悠奈・西脇千晃（清心女子高）
- 1104 ニジマスの海水養殖について
…………… °青木翔吾・福田佳誉（大津緑洋高）
- 1105 尾道市向島沿岸における干潟底生生物の調査研究
…………… °福留吾夫・新川颯輝・渡邊大智・井上智哉・山本寛太・江良勇輝・
佐藤 心・實政寧桜（尾道高等学校科学部）
- 1106 油木高校ナマズプロジェクトについて
…………… °竹平昌哉・村上颯人（油木高校産業ビジネス科）
- 1107 瀬戸内海備讃瀬戸西部瓦洲でのヒガシナメクジウオ生息調査
…… °庄司宜永・谷本佳紀・糸瀬太一（香川県立多度津高等学校 海洋生産科 3年 栽培技術コース）
- 1108 志和岐港内における藻場再生についての検討～ウニ駆除の効果測定について～
…………… °林 航大（徳島科学技術高等学校）
- 1109 兵庫県北部矢田川における魚類相調査および環境調査
…………… °本田亮平・°牧之瀬出海（兵庫県立香住高）

＜平成 30 年度秋季大会ミニシンポジウム＞

選抜育種の積極的な導入に向けて―「経験則」から「データによる予測」へ

日時・場所：平成 30 年 9 月 15 日（土）13:00-17:00 第 1 会場

企画責任者：細谷将（東大水実）・野村和晴（水産機構増養殖研）・家戸敬太郎（近大水研）

- 13:00－13:05 開会の挨拶・趣旨説明 細谷 将（東大水実）
座長 野村和晴（水産機構増養殖研）
- 13:05－13:40 1. ブリ育種プログラムの基礎と育種価の応用
森島 輝（日水大分海洋研）
- 13:40－14:10 2. マダイー50 年以上に亘る集団選抜と系統管理
家戸敬太郎（近大水研）
- 14:10－14:40 3. ギンザケー高成長系統の作出と救出
細谷 将（東大水実）
座長 細谷 将（東大水実）
- 14:40－15:10 4. ウナギー仔魚期間の短縮に向けた育種基盤の構築
野村和晴（水産機構増養殖研）
- 15:10－15:40 5. トラフグー高成長白子早熟系統の探索と固定
吉川壮太（長崎水試）
- 15:40－16:10 6. 今の輸出業者の視点からみたマーケットニーズ
清水義弘（ジャパニシーフード
トレーディング（株））
座長 中嶋正道（東北大院農）
- 16:10－16:50 総合討論
- 16:50－17:00 閉会の挨拶 家戸敬太郎（近大水研）

企画の趣旨

養殖生産量は我が国が横這いであるのに対し、諸外国では劇的に増大している。また、選抜育種の積極的導入とグローバルなマーケットの拡大が世界的に進んでいる。そこで、我が国の養殖業における選抜育種の導入を促し、国際競争力を獲得することを目指し、本ミニシンポ

ジウムを企画した。量的遺伝学、最良線形不偏予測値(BLUP)、ゲノミックセレクションをキーワードに、実例を紹介しつつ、課題を共有し、今後の展望（経験からデータを用いた予測への転換、輸出力強化など）を議論する。

＜平成 30 年度日本水産学会秋季大会水産環境保全委員会企画研究会＞

増養殖環境における生物－環境間の相互作用とその有効利用 ～複合養殖の現場から探る実態とこれからの可能性～

日時・場所：平成 30 年 9 月 15 日（土） 13：00－17：00 第 2 会場

企画責任者：児玉真史（国際農研セ）・渡部諭史（水産機構増養殖研）

1. 開会の挨拶

13:00 － 13:05

水産環境保全委員会委員長

2. 趣旨説明

13:05 － 13:15

企画責任者 児玉真史

3. 話題提供

13:15 － 13:45

1) インドネシア・カラワン海岸における IMTA

柳 哲雄（国際 EMECS センター）

13:45 － 14:15

2) 複合養殖対象種としてのハネジナマコの生物学的特性

渡部諭史（水産機構増養殖研）

14:15 － 14:45

3) フィリピン沿岸のミルクフィッシュ養殖場における IMTA

児玉真史（国際農研セ）

15:00 － 15:30

4) 魚類と海藻の混合養殖による有害赤潮の発生予防の可能性

今井一郎（北大院水）

15:30 － 16:00

5) 日生町漁協でのカキ養殖と底びき網の複合的な漁場利用

津行篤士（岡山農総セ普及連携部）・石飛博敏（岡山県農林水産部）

天倉辰己（日生町漁協）

16:00 － 16:30

6) 複合養殖について社会経済的観点からの議論

宮田 勉（水産機構中央水研）

4. 総合討論

16:30 － 16:55

座長 児玉真史

5. 閉会の挨拶

16:55 － 17:00

水産環境保全委員会副委員長

企画の趣旨

複合養殖は、複数の魚介類を組み合わせることで生産性の向上を図ることを目的とした養殖システムである。その歴史は古く、紀元前の中国やエジプトにもその記録が残されている。近年では、欧米や中国、東南アジア諸国等において多くの取り組みがなされており、古くて新しい技術といえる。とくに、魚類や貝類等、残餌や排泄物などによって環境負荷の発生する養殖システムに、栄養段階の異なる懸濁物食者、堆積物食者あるいは藻類などの水産有用種を加えることにより、環境負荷の軽減と副次的生産による収益の向上を図ることを目的とした Integrated Multi-Trophic Aquaculture (IMTA) が注目を集めている。

これまで日本水産学会においては、平成 11 年に水産環境保全委員会主催のシンポジウム「水産養殖とゼロエミッション」、平成 17 年に同じく「養殖海域の環境収容力評価の現状と方向」、また、平成 20 年には「魚類養殖場環境の評価と改善への取り組み」、水産増殖懇話会においても「環境にやさしい養殖への展望」等が開催され、複合養殖を含めた環境負荷の少ない養殖のあり方が議論されてきた。さらに、平成 30 年の春季大会において開催されたシンポジウム「貝類の適性養殖－現状と将来への展望」において、生態系の物質循環機能を活用した持続的な養殖技術の一つとして、複合養殖の可能性が議論された。複合養殖は、有効な技術として期待が大きいものであるが、環境や生態系のみならず社会状況にも強く依存して様々な組み合わせがあり、必ずしも普遍的に定着した技術とは言えない。本研究会では、これまでの歴史を踏まえつつ複合養殖に関連する内外の事例を紹介し、その実態とこれからの可能性について議論する。

＜平成 30 年度第 2 回日本水産学会水産増殖懇話会講演会＞

瀬戸内の魚類養殖のホットスポット

日時・場所：平成 30 年 9 月 15 日（土）13：00～17：00 第 3 会場

企画責任者：海野徹也（広大院生物園科）

13：00～13：05 開会の挨拶 水産増殖懇話会委員長 廣野育生（海洋大院）

座長 有瀧真人（福山大生命工）
13：05～13：30 科学でせまるフルーツ魚 深田陽久（高知大農海）
13：30～13：55 養殖魚にオリーブの葉 吉田 誠（香川水試）
13：55～14：20 低塩分飼育技術で出荷調整から高付加価値化まで 御堂岡あにせ（広島水海技セ）
14：20～14：45 養殖親魚の品質を DNA で見極める 澤山英太郎（愛媛大南水研セ）

14：45～15：00 休憩

座長 海野徹也（広大院生物園科）
15：00～15：25 激減するマアナゴを陸上養殖で増産！ 家戸敬太郎（近大水研）
15：25～15：50 陸上養殖技術で幻の高級魚キジハタを食卓に 森田哲男（水産機構瀬水研）
15：50～16：15 テッポウギスを瀬戸内名産に ～しまなみテッポウギスプロジェクト～
有瀧真人（福山大生命工）
16：15～16：40 瀬戸内海のサーモン養殖、活性化への期待と課題 今井 智（水産機構瀬水研）、
向井龍男、林 和希（香川水試）、倉本将司（香川県漁業協同組合連合会）

16：40～16：55 総合討論

16：55～17：00 閉会の挨拶 水産増殖懇話会副委員長 良永知義（東大院農）

企画趣旨

瀬戸内は我が国の海産魚養殖の発祥の地であり、特色ある閉鎖的環境によって多種多様な魚介類の養殖技術が育まれてきた。また、放流や養殖用の種苗生産拠点としての歴史も古く、安定生産技術は瀬戸内各地に定着している。瀬戸内の養殖は、歴史的背景のみならず、環境や技術面での優位性を基盤に、大きな発展を遂げたといえる。

近年の養殖業を取り巻く環境は、消費者の魚離れや魚価の低迷といった問題もあり、決して楽観視できるものではない。この点、瀬戸内の魚類養殖は、フルーツ魚をはじめ、付加価値の高い魚種や、商品価値の高い魚種が養殖されるなど、脚光を浴びている。

講演会の前半は、養殖魚の付加価値を高めるような最新技術について紹介していただき、後半では、グルメ時代に対応した養殖魚の生産とその産業化への取り組みについて話題提供していただく。新技術と新魚種の調和によって活性化している瀬戸内の養殖にスポットあてた本講演会が、将来の養殖産業の持続的発展の手がかりになることを期待したい。

<平成 30 年度秋季大会水産学若手の会主催シンポジウム>

若手研究者による中国・四国地方の水産研究とこれから

日時・場所：平成 30 年 9 月 15 日（土） 13:00－17:00 第 5 会場

企画責任者：竹内 裕（鹿大水）、南 憲吏（島根大）、馬久地みゆき（水産機構中央水研）

13:00-13:05	開会	馬久地みゆき（水産機構中央水研）
		座長 竹内 裕（鹿大水）
13:05-13:20	広島県カキ産業の特色と研究課題の紹介	水野健一郎（広島水海技セ）
13:20-13:35	魚類養殖および蓄養に関する広島県の取り組み内容の紹介	東谷福太郎（広島水海技セ）
13:35-13:50	広島湾のクロダイの資源生態	山下裕太郎（広大院生物園科）
13:50-14:05	瀬戸内海におけるイカナゴの母性効果に関する研究	葛原裕恒（広大院生物園科）
14:05-14:20	スマの養殖技術開発研究	眞鍋諒太郎（愛媛水研セ）
	休憩	
		座長 南 憲吏（島根大）
14:30-14:45	香川県の漁業と研究課題の紹介	藤田辰徳（香川水試）
14:45-15:00	水産資源の回復に向けた海洋および河川環境研究	山下泰司（岡山水研）
15:00-15:15	藻礁のモニタリング調査について	内田明（山口水研セ）
15:15-15:30	島根県における藻類養殖の取り組みについて	吉田太輔（島根水技セ）
15:30-15:45	鳥取県西部海域美保湾におけるヒトデ類大量発生監視調査	野々村卓美（鳥取栽漁セ）
15:45-16:00	瀬戸内海西部におけるカレンニア赤潮について	紫加田知幸（水産機構瀬水研）
	休憩	
		座長 竹内 裕（鹿大水）、南 憲吏（島根大）
16:15-16:55	総合討論	
16:55-17:00	閉会	竹内 裕（鹿大水）

企画の趣旨

中国・四国地方は豊かな水産資源に恵まれており、古くから漁業・養殖ともに盛んな地域であることから、水産業は地域の重要な産業として発展してきた。水産学若手の会主催シンポジウムでは秋季大会開催地の広島をはじめ周辺の中国・四国地方の若手研究者が対象地域の水産研究について紹介し、隣接した地域の状況についての情報を共有するとともに、中国・四国地方の水産業発展のために若手研究者に何が求められているのか、5-10 年後を見据えて何が必要であるかを討論する。

本シンポジウムでは各県公設水産試験場・センターから各県における水産の現状と課題について紹介した後、講演課題について詳細に発表する。

水産学若手の会は全国の水産学に係わる若手研究者と学生の交流を促進し、水産学の活性化に貢献するとともに、地域に根付いた形で若手の学術活動を活性化させることを目的としている。そのため本シンポジウムをきっかけに研究者同士のネットワークを繋げていきたい。また、多くの学生にも参加していただき、就職先候補となる県公設水産試験場・センターの研究者から直接話を聞ける機会としても活用して欲しい。さらに、若手研究者には「現場を知る」ことが求められているが、現場に近い県公設水産試験場・センターの若手研究者の水産学会員が減少している。現場を知る若手会員を増やすためのアイデアについても検討したい。

＜平成 30 年度秋季大会ミニシンポジウム＞

「干潟漁場の評価のための生物多様性の研究」

日時・場所：平成 30 年 9 月 15 日（土） 13:00-16:40 第 6 会場

企画責任者：内田基晴・浜口昌巳（水産機構瀬水研）・大越健嗣（東邦大理）

13:00－13:05	開会の挨拶	内田基晴（水産機構瀬水研） 座長：浜口昌巳（水産機構瀬水研）
13:05－13:35	1. 干潟の生物多様性研究の現状と動向	大越健嗣（東邦大理）
13:35－14:05	2. 干潟の細菌群集の多様性	内田基晴（水産機構瀬水研）
14:05－14:35	3. 干潟のメイオベントス（特に線虫類）の多様性	辻野 睦（水産機構瀬水研）
14:35－14:45	休憩	
14:45－15:15	4. 干潟のマクロベントスの多様性	座長：辻野 睦（水産機構瀬水研） 浜口昌巳（水産機構瀬水研）
15:15－15:45	5. 干潟の生物多様性の評価指標	高田宜武（水産機構日水研）
15:45－16:15	6. 干潟の生物多様性と NP0 の活動事例	足利由紀子（水辺に遊ぶ会）
16:15－16:35	総合討論	座長：大越健嗣（東邦大理）
16:35－16:40	閉会の挨拶	浜口昌巳（水産機構瀬水研）

企画の趣旨

1992 年生物多様性条約の国連採択、2010 年生物多様性条約第 10 回締結国会議（COP10）の名古屋開催を経て、生物多様性保全の重要性の認識が国内外で高まっている。日本における海洋分野の生物多様性の研究は、これまで環境省を中心に“海洋環境”という視点で議論されてきたが、水産の立場からは“漁場環境”という視点で生物多様性について考える必要がある。

本シンポジウムでは、海洋の生物多様性研究の全体的な動向に触れるとともに、水産庁事業により過去 10 年間実施された漁場環境の生物多様性研究のうち干潟の話題に絞って最新の知見を紹介する。また、市民レベルでの活動事例を紹介し、海の生物多様性に配慮した持続可能な漁業の実現に資することを目的とする。

＜平成 30 年度秋季大会ミニシンポジウム＞

持続可能な漁業産業を支援するための ICT の活用

日時・場所：平成 30 年 9 月 18 日（火）13:00-17:00 第 2 会場

企画責任者：佐野 稔（道総研稚内水試）・宮下和士（北大 FSC）・南 憲吏（島根大 EsReC）

13:00-13:05 開会の挨拶・趣旨説明

佐野 稔（道総研稚内水試）

座長 南 憲吏（島根大 EsReC）

13:05-13:30 1. 青森県の手ナビ@あおもり

高坂祐樹（青森水総研）

13:30-13:55 2. 宮崎県における海況情報提供システム

渡慶次力（宮崎水試）

13:55-14:20 3. 「しずまえ資源」管理・情報提供システム

小林憲一（静岡水技研）

14:20-14:45 4. 北海道のマナマコ資源管理支援システム 佐野 稔（道総研稚内水試）

座長 宮下和士（北大 FSC）

14:45-15:10 5. 北海道の底魚資源管理支援システム ～ホッケの自主管理～

鈴木祐太郎（道総研稚内水試）

15:10-15:35 6. 北海道の市場システム

田村 浩（日本事務器（株））

15:35-16:00 7. 市場への ICT 導入の効果と課題

金子 貴臣（中央水研）

16:00-16:55 総合討論

16:55-17:00 閉会の挨拶

宮下 和士（北大 FSC）

企画の趣旨

ICT の技術的進歩は著しく、10 年前には考えられなかった機器、装置、各種センサー、通信ネットワークが開発され、容易に情報システムを構築し、社会実装されている状況が進んでいる。農業分野においては、様々な民間会社が ICT を利用して農業経営を支援する農業クラウドを商品化し、実際に生産者が活用している。一方、漁船漁業の分野においては、資源状況の低迷、後継者不足、魚価の低迷、燃油の上昇など、取り巻く環境は年々厳しくなっており、ICT によるこれら課題の解決に大きな期待が寄せられている。ただし、漁船漁業

には、目的海域への出漁、漁獲、市場への水揚げ、販売と幅広い過程があるため、ICT の利用に際しては、どの段階のどのような課題を解決するかを判断する必要がある。近年では、少数ではあるものの、漁業者ニーズにそって開発をすすめ、実際の漁業現場で活用される成功事例も現れている。そこで、本シンポジウムでは、ICT により実際の漁業現場で活用されている事例を整理するとともに、持続可能な漁業産業を実現するために必要な ICT 導入の効果と課題について議論する。

＜平成 30 年秋季大会シンポジウム＞

「魚類の性決定・性分化・性転換 -これまでとこれから-」

日時・場所：平成 30 年 9 月 18 日（火）8:30-16:35 第 3 会場

企画責任者：菊池 潔（東大水実）・井尻成保（北大院水）・北野 健（熊大院自然科学）

08:30-08:35 開会の挨拶

菊池 潔（東大水実）

I. 魚類の性決定

座長 井尻成保（北大院水）

08:35-09:15 1. 「メダカ属魚類の性決定遺伝子」

松田 勝（宇都宮大）

09:15-09:55 2. 「フグ類の性決定遺伝子たち」

菊池 潔（東大水実）

09:55-10:05 休憩

10:05-10:35 3. 「ブリ属魚類の性決定機構」

小山 喬（東大水実）

10:35-11:15 4. 「トウゴロウイワシの性決定機構」

山本洋嗣（海洋大）・服部リカルド修平（海洋大，サンパウロ水産研究所）

II. 魚類の性分化

座長 松田 勝（宇都宮大）

11:15-11:55 1. 「魚類の性分化におけるエストロゲンの役割」 北野 健（熊大院自然科学）

11:55-12:40 休憩（昼食）

12:40-13:20 2. 「ティラピア、チョウザメ、ウナギの性分化」

井尻成保（北大院水）

13:20-13:50 3. 「軟骨魚類の性分化」

小林靖尚（近大農）

13:50-14:00 休憩

III. 魚類の性転換

座長 小林靖尚（近大農）

14:00-15:00 1. 「魚類の性転換現象から何を知ることが出来たか」

中村 将（美ら島財団総合研）

15:00-15:10 休憩

IV. 基調講演

座長 松田 勝（宇都宮大）

15:10-16:10 「魚類の性決定・性分化・性転換 -これまでとこれから-」

長濱嘉孝（基生研・名誉教授）

V. 総合討論

16:10-16:30

座長 北野 健（熊大院自然科学）

16:30-16:35 閉会の挨拶

北野 健（熊大院自然科学）

企画の趣旨

性統御は増養殖において確立が待望される技術である。しかし、性決定や性分化を制御するメカニズムは長い間分かっていなかった。2002 年、魚類で最初の性決定遺伝子（メダカ *Dmy*）が同定されて以来、これまで 6 魚種から様々な性決定遺伝子が報告され、その多様性には驚かされることとなった。また近年、性決定以降の生殖腺の性分化についてもその分子制

御機構が明らかになりつつある。さらに、性転換する魚種についてもその分子機構の理解が大きく進み、性転換と通常の性分化との間で共通する機構が存在する可能性も浮かびあがってきた。本シンポジウムは、様々な魚種における生殖腺の性分化研究のこれまでの進展について理解を深め、これからの研究の方向性を議論する機会となるよう企画した。

賛 助 会 員

平成30年8月現在

味の素株式会社	高砂香料工業株式会社
いであ株式会社	株式会社拓水
伊藤忠飼料株式会社	中国電力株式会社
株式会社インターベツト	中部飼料株式会社
植田製油株式会社	中部電力株式会社
株式会社ウエノフードテクノ	株式会社鶴見精機
ウミトロン株式会社	東海シープロ株式会社
エグジビション テクノロジーズ株式会社	株式会社東京久栄
NEC ソリューションイノベータ株式会社	東北緑化環境保全株式会社
岡部株式会社	株式会社なとり
株式会社オキシテック	ニチモウ株式会社
株式会社科学飼料研究所	株式会社ニチレイフーズ
兼松新東亜食品株式会社	日清丸紅飼料株式会社
神畑養魚グループ	日東製網株式会社
株式会社環境総合テクノス	日本水産株式会社
キッコーマン株式会社	日本エヌ・ユー・エス株式会社
株式会社キッツ	日本海洋株式会社
株式会社紀文食品	日本海洋事業株式会社
久二野村水産株式会社	一般財団法人日本食品分析センター
共和コンクリート工業株式会社	日本農産工業株式会社
株式会社極洋	株式会社二枚貝養殖研究所
株式会社クレハ	Biologging Solutions Inc.
黒瀬水産株式会社	はごろもフーズ株式会社
株式会社恒星社厚生閣	長谷川香料株式会社
コーキン化学株式会社	株式会社ヒガシマル
JFE アドバンテック株式会社	フィード・ワン株式会社
株式会社昌新	古野電気株式会社
昭和環境システム株式会社	北興工業株式会社
新日鐵住金株式会社	マルキユー株式会社
スクレッティング株式会社	株式会社マルハチ村松
株式会社鈴廣蒲鉾本店	マルハニチロ株式会社
株式会社成山堂書店	御木本製薬株式会社
西部環境調査株式会社	株式会社ヤマリア
全国漁業協同組合連合会	理研ビタミン株式会社
一般社団法人大日本水産会	

協賛団体一覧

本大会の開催に当たり下記団体・個人のご協力を得ました。ここにご厚志を感謝いたします。

(50 音順、平成 30 年 8 月末日現在)

株式会社アペックスインターナショナル

株式会社イーエムエス

黒沢産業株式会社

株式会社恒星社厚生閣

三洋テクノマリン株式会社

広島魚市場株式会社

ひろしま創生株式会社

株式会社扶桑理化

復建調査設計株式会社

株式会社ヨンキュウ

展示出展企業・製品一覧

(50 音順、平成 30 年 8 月末日現在)

- JFE アドバンテック(株) TEL.0798-66-1783 FAX.0798-66-1654
[栄養塩分析装置、有害プランクトン検出センサー、小径プローブ DO 計、多項目水質計など]
E-mail: ocean@jfe-advantech.co.jp URL: <http://www.jfe-advantech.co.jp/>
- アーク・リソース(株) TEL.0964-46-3773 FAX.0964-46-3743
[催熱用試薬、抗体製造・キット化等]
E-mail: s-kita@ark-resource.co.jp URL: <http://www.ark-resource.co.jp>
- (株)イーエムエス TEL.03-5820-0799 FAX.03-5820-1728
[動物プランクトンスキャナー、水中プランクトンカメラ、多段開閉ネット、流向流速計]
E-mail: sales@ems-ocean.com URL: <http://www.ems-ocean.com/>
- (株)恒星社厚生閣 TEL.03-3359-7371 FAX.03-3359-7375
[水産、水生生物に関する書籍の展示・販売]
E-mail: info@kouseisha.com URL: <http://www.kouseisha.com>
- シスメックス(株) TEL.078-992-6772 FAX.078-991-2317
[フローサイトメーター]
E-mail: cell_analysis@sysmex.co.jp URL: <http://www.sysmex-fcm.jp>
- (株)昌新 TEL.03-3270-5922 FAX.03-3245-1695
[深度計、高度計、ハイドロフォン等の水中センサ及び海洋調査機器]
E-mail: OS@shoshin.co.jp URL: <https://www.shoshin.co.jp/>
- スリーエス・オーシャンネットワーク株式会社 TEL.03-3646-6692 FAX.03-3646-6732
[IFCB イメージングフローサイトボット、WTS 現場型濾過器、WIZ ポータブル栄養塩解析現場型プローブ]
E-mail: sales@3s-ocean.com URL: <http://www.3s-ocean.co.jp>
- (株)生物技研 TEL.046-280-4118 FAX.046-280-4148
[次世代シーケンス解析受託サービス、環境 DNA 解析サービス]
E-mail: knakano@gikenbio.com URL: <http://www.gikenbio.com>
- (株)田中三次郎商店 TEL.0942-73-1111 FAX.0942-72-1911
[プランクトンネット・水産器材、鳥類・魚類・野生動物標識]
E-mail: aquaculture@tanaka-sanjiro.com URL: <https://www.tanaka-sanjiro.com>
- (株)鶴見精機 TEL.045-521-5252 FAX.045-521-1717
[K バンド波高計]
E-mail: sales@tsk-jp.com URL: <http://www.tsk-jp.com/index.php>
- ニチモウ(株) TEL.03-3458-4065 FAX.03-3458-4019
[最新の漁具・漁労調査機器の展示]
E-mail: youto_takeuchi@nichimo.co.jp URL: <http://www.nichimo.co.jp>
- 日東製網(株) TEL.084-953-1234 FAX.084-953-1234
[ユビキタス魚探、漁具シミュレーション解析(NaLA システム)、研究開発・水産資材]
E-mail: info@nittoseimo.co.jp URL: <http://www.nittoseimo.co.jp/>
- 日本海洋(株) TEL.03-5613-8902 FAX.03-5613-8210
[計量魚探、生物テレメトリー装置、イメージングソナー]
E-mail: dandou@n-kaiyo.com URL: <http://www.nipponkaiyo.co.jp>
- Nortek ジャパン合同会社 TEL.03-6435-3270 FAX.03-6435-3228
[超音波式流向流速計の展示(新エコーサウンダー機能搭載モデル、他)]
URL: <https://www.nortekgroup.com>
- ユーロフィンジェノミクス(株) TEL.03-5492-7001 FAX.03-5492-7277
[ジェノタイピングと次世代シーケンス解析サービス]
E-mail: ngs-jp@eurofins.com URL: <https://www.eurofinsgenomics.jp>

広 告 申 込 企 業 一 覧

(50 音順、平成 30 年 8 月末日現在)

株式会社アペックスインターナショナル

アルファバイオ株式会社

株式会社イーエムエス

株式会社大熊

尾鷲物産株式会社

株式会社クラハシ

五洋建設(株) 中国支店

株式会社阪井養魚場

日本海洋株式会社

広島和光株式会社





アルファバイオ株式会社

アルファバイオ株式会社は、理化学機器、研究用試薬、バイオテクノロジー関連機器の販売を通じて、研究者の皆様のお手伝いをさせていただきます。

【事業内容】

理化学機器・医療機器の販売

理化学機器修理

消耗機材・バイオ関連商品の販売

医療品・試薬・臨床検査薬の販売

上記に付属する一切の事業

取扱メーカーは多数ございます。どのような事でもお気軽にお問い合わせください。
<http://www.alpha-bio.jp/>

本社（広島） 〒734-0015 広島市南区宇品御幸3丁目2-1
TEL 082-569-7117 FAX 082-569-7118

岡山営業所 〒700-0952 岡山市北区平田163-107
TEL 086-250-8816 FAX 086-250-8817





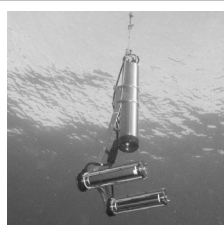

UVP / ZooSCAN

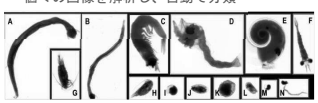


UVP 水中プランクトンカメラ
・最速20Hzのサンプリングレート

ZooSCAN 動物プランクトンスキャナー
・高解像度スキャン(解像度最大 4800dpi)

・個々の画像を解析し、自動で分類







54cm

36cm

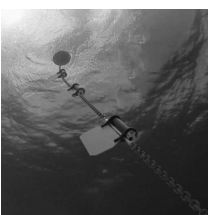
ドップラー流速計 Aquadopp/Signature

ドップラー流速計 NORTEK

Aquadopp/Signature

- ・小型、軽量、省電力なドップラー流速計
- ・シングルポイント/多層モデルを選択可
- ・定点でのリアルタイムモニタリングシステムも構築可能





理化学機器・研究器材販売 株式会社 大熊

<http://www.k-okuma.co.jp>

本 社 〒701-0204 岡山市南区大福378-1
TEL 086-209-0102 FAX 086-209-0103

倉敷支店 〒712-8044 倉敷市東塚6-4-51
TEL 086-455-8895 FAX 086-456-2057

株式会社イーエムエス 東京支店
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15
岩本町喜多ビル 5階

<http://www.ems-ocean.com/>
Mail : sales@ems-ocean.com
TEL : 03-5820-0799, FAX : 03-5820-1728



かもめのマーク

地域未来牽引企業

尾鷲物産株式会社

- ・養殖
- ・延縄漁
- ・養魚加工
- ・活魚
- ・定置網
- ・飼料 他

〒519-3612
三重県尾鷲市林町1-33

TEL 0597-22-2323
FAX 0597-23-0456

<https://www.owasebussan.net/>



おわせお魚いちば おとと
尾鷲市古戸町 2-10 / 0597-23-2100

<http://e-ototo.jp/>



私たちは、水産と食品の総合卸売商社です



- 本社
〒721-0942
広島県福山市引野町1丁目1番1号
電話：084-941-3510
- 広島営業所
〒721-0942
広島県広島市西区草津港 1-5-35 2階
電話：082-276-4301
- 四国営業所
〒768-0040
香川県観音寺市柞田町字干拓丁 93 番 24
ダイセイエブリー二十四香川ハブセンター2階
電話：087-524-8811

1896年、広島県呉市にて創業した当社は、
進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、
社会とともに成長してきました。
新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、
いまでも当社のDNAに引き継がれています。
時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、
時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。
現状に甘んじることなく、一步一步着実に前に進む。
その先の向こうへ...五洋建設

その先の向こうへ
GOING FURTHER

本社 / 〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8
支店 / 札幌 東北 北陸 東京土木 東京建築
名古屋 大阪 中国 四国 九州
<http://www.penta-ocean.co.jp/>

五洋建設株式会社

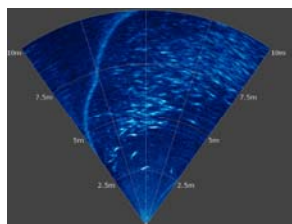


—— 海を拓く ——

- SIMRAD** : EK80 ワイドバンド計量科学魚探システム
Kongsberg : EM シリーズ マルチビーム海底地形探査装置
SCANMAR : Scanbas365 漁網監視装置
VEMCO : VPS バイオテレメトリーシステム、ピンガー
Blue Print : Oculus イメージングソナー、Sea Track



Oculus ソナーヘッド



Oculus 画像



日本海洋株式会社

〒120 - 0003 東京都足立区東和 5-13-4
 営業部、技術部

TEL : 03-5613-8902
FAX : 03-5613-8210

地域と科学のパートナー

当社は、山口・広島・岡山・東京・千葉を営業拠点とし、地域密着型の理化学総合ディーラーとして、試薬・臨床検査薬・工業薬品・分析機器などの販売を行っています。日々変化する環境、市場のニーズに対応し、顧客から満足して頂けるサポート体制を目指して前進していきます。

お客様と明日の「ワクワク」を共感するため・・・

当社では試薬・理化学機器の販売・保守だけでなく、研究者のトータルパートナーとしての研究支援を目指しております。

実験の効率化、研究施設の省エネ化、予算管理の合理化など、お客様の要望に合わせて、弊社の幅広い仕入先と、これまでの実績をもとにお客様の「夢」の実現を支援すべく、最適なソリューションを提供します。

試薬・検査薬・工業薬品・理化学機器販売及び保守修理

広島和光株式会社
 Hiroshima wako Co., Ltd.
 本社 TEL: 082-285-5155 FAX: 082-285-5156
 Mail: hiroshima@hiroshima-wako.co.jp

岡山営業所 TEL: 086-241-0771	FAX: 086-243-1503/岡山営業所	TEL: 084-943-2720	FAX: 084-943-1198
東広島営業所 TEL: 082-431-3511	FAX: 082-431-3515/広島営業所	TEL: 082-285-6225	FAX: 082-285-2505
岩国営業所 TEL: 0827-22-0683	FAX: 0827-22-0819/徳山営業所	TEL: 0834-25-1230	FAX: 0834-25-1249
防府営業所 TEL: 0835-24-5432	FAX: 0835-24-5454/宇部営業所	TEL: 0836-34-3331	FAX: 0836-34-3431
東京営業所 TEL: 03-5447-6181	FAX: 03-3449-7861/千葉営業所	TEL: 0436-22-2671	FAX: 0436-22-5343
■グループ企業/鳥取サイエンス TEL: 0857-23-5651		FAX: 0857-23-5652	

平成 30 年度公益社団法人日本水産学会秋季大会
講演プログラム
平成 30 年 9 月 8 日 印刷
平成 30 年 9 月 15 日 発行

発行：平成 30 年度公益社団法人日本水産学会秋季大会
発行責任者：大会実行委員長 南 卓志
福山大学内海生物資源研究所
〒 722-2101
広島県尾道市因島大浜町 452-10
Tel：0845-24-2933
印刷：トーヨー企画株式会社
〒 102-0072
東京都千代田区飯田橋 1 丁目 5-8
アクサンビル 2F
Tel：03-3262-6605
Fax：03-3262-6705

表紙デザイン：実行委員会



公益社団法人 日本水産学会
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学(品川キャンパス)内

The Japanese Society of Fisheries Science
c/o Tokyo University of Marine Science and Technology
Konan 4-5-7, Minato, Tokyo 108-8477, Japan